

平成 25 年度環境省請負事業

平成 25 年度

犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す
理想的な時期に関する調査検討業務
報 告 書

平成 26 年(2014 年)3 月
公益社団法人 日本獣医師会

目	次	(頁)
はじめに	1
I 業務の概要	2
II 業務の実施結果	2
1 調査手法等に関する検討会の開催	2
2 検討会の委員	2
3 検討会の開催	2
(1) 第1回検討会の開催概要	2
(2) 第2回検討会の開催概要	3
(3) 第3回検討会の開催概要	5
4 検討会における調査手法の検討結果等	7
5 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料の作成	17
6 試行的な調査の実施	23
(1) 協力犬猫等販売業及び協力犬猫購入予定者の確保等	23
(2) 親等からの引き離し時期について	24

(3) 猫の問題行動把握のためのアンケート調査項目の検討	25
III おわりに	31
1 調査手法等に関する検討会関係	31
2 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料作成関係	32
3 試行的な調査関係	33
IV 参考資料	36
1 参考資料1：獣医動物行動研究会「診療前調査票」	37
2 参考資料2：C-barq -犬の行動解析システム- 概要	55

はじめに

犬や猫において、一定の日齢に達していない幼齢個体を親兄弟(以下「親等」という。)から引き離すと、適切な社会化がなされず、後々、吠え癖や咬み癖等の問題行動を引き起こす可能性が高まると考えられている。このため、「動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律(平成24年法律第79号(以下「改正法」という。))」においても、生後56日齢を経過しない犬猫の販売が禁止されたが、経過措置として改正法施行後3年間は生後45日齢、その後は「別に法律で定める日」までは生後49日齢に読み替えるものとされた。

この改正法附則の「別に定める日」については、施行後5年以内に、犬猫等販売業者の実態、マイクロチップを活用した調査研究の実施等による科学的知見の充実を踏まえた親等から引き離す理想的な時期についての社会一般への定着の度合い及び犬猫等販売業者へのその科学的知見の浸透の状況、犬や猫の生年月日を証明させるための担保措置の充実の状況等を勘案して検討することとされている。

本業務は、こうした状況を踏まえ、犬や猫と人間が密接な社会的関係を構築するために、幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期についての調査手法等(以下「調査手法等」という。)を検討するために、専門家等による検討会を開催し、今後の調査計画等について検討を行ったほか、一般飼い主への調査協力を依頼するための広報資料の作成及び試行的な調査等を実施したので報告する。

I 業務の概要

本業務は、犬や猫と人間が密接な社会的関係を構築するために、犬猫幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期についての調査手法及び今後の調査計画等を専門家等により検討し、さらに一般飼い主への調査協力用普及広報資料(チラシの電子データ)の作成及び試行的な調査等を実施した。

II 業務の実施結果等

1 調査手法等に関する検討会の開催

「改正法」附則で、施行後5年以内に検討することとされていることを踏まえ、今後の調査手法や、スケジュール、取りまとめ方法、評価方法等について、専門家、事業者、家庭動物へのマイクロチップ普及団体関係者をメンバーとする検討会を設置・開催(3回)し、今後の調査手法、調査計画等について検討を行った。(「平成25年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討会」(以下、「検討会」という。))

2 検討会の委員(計6名)

区分	氏名	所属団体等
専門家	菊水健史	麻布大学教授(伴侶動物学研究室)
	高木智春	合同会社 Symbio 代表社員
	細井戸大成	公益社団法人日本獣医師会理事(小動物臨床部会長)
事業者	小島章義	一般社団法人全国ペット協会(ZPK)会長
	太田勝典	一般社団法人全国ペット協会(ZPK)理事
関係団体	崎田克康	動物ID普及推進会議幹事(公益社団法人日本愛玩動物協会事業部長)

3 検討会の開催

(1) 第1回検討会の概要

- 平成26年2月3日(月) 午前10時から正午
：麻布大学獣医学部棟120号会議室
- 出席委員5名：高木智春委員 細井戸大成委員 小島章義委員
太田勝典委員 崎田克康委員 (欠席：菊水健史委員)

- オブザーバー：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
今西 保 室長補佐 岸 秀蔵 指導企画係長

- 議 事 等

- (1) 検討会スケジュールの説明について
- (2) 今後の調査手法の検討について
- (3) その他

- 第1回検討会まとめ

今後の調査手法等について検討を行い、以下のとおり承認された。

- (1) 犬に関する調査について
基本的にC-barq を活用することとし、獣医動物行動研究会調査票を参考にしながら、飼い主が回答し易いような設問数と表現になるよう、調査項目について検討していくこと。
- (2) 猫に関する調査について
C-barq の設問等を参考にしながら、販売に供される猫を対象として、集められる範囲で調査検討を行う。また、ペーパーベースを想定し聴き取り調査的な手法で検討することとし、調査項目については、菊水委員と請負者でたたき台を作成し検討会で議論していくこと。
- (3) 調査対象者について
販売日齢ごとに頭数を確保するのではなく、「ZPK」の協力を得ながら現行主流である方法で販売された動物を調査することが現実的であり、日本の現状に近いデータが取れるのではと考えられること。
- (4) 調査手法等に関する普及広報用チラシについて
試行的調査で使用したチラシを参考に、次回以降の検討会の中で積極的な議論を経て検討を進めること。

- (2) 第2回検討会の概要

- 平成26年2月26日(水) 午後2時30分から同4時30分
：(公社)日本獣医師会会議室

○ 出席委員 5 名：菊水健史委員 高木智春委員 細井戸大成委員
小島章義委員 崎田克康委員（欠席：太田勝典委員）

○ オブザーバー：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
今西 保 室長補佐 岸 秀蔵 指導企画係長

○ 議 事 等

(1) 第 1 回検討会議事概要等について

(2) 犬猫幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査検討に
ついて

ア 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料の作成
(チラシ等の電子データの作成)

イ 猫の問題行動を把握するための、一般飼い主へのアンケート調査の
項目等について

(3) その他

○ 第 2 回検討会のまとめ

アンケート項目等について検討を行い、以下のとおり承認された。

(1) 調査手法等に関する普及広報資料の作成検討について(電子データ
作成原稿検討)

ア チラシ文書は「短く」、内容は「前向き・プラス(ポジティブ)なも
の」を考える。

イ アンケート調査協力者(回答者)には、当該犬・猫の気質をお知らせ
する。

ウ マイクロチップ施術料等に関しては議論し協力費も再設定する。

(2) 猫の問題行動把握アンケート調査項目等の検討について

ア アンケート調査項目案は、各委員が持ち帰り精査する。

イ 猫の離乳時期について「ZPK」で現状を取りまとめて頂く。

ウ 犬・猫アンケート調査の手続き案(必要な書類、郵送・回収の方法等)について事務局で検討し第3回検討会に提出を願う。

エ 来期の経費、マイクロチップに係る問題、業務統計に必要な頭数に関しては再検討し早めにフィードバックしたい。

(3) 第3回検討会の概要

○ 平成26年3月19日(水) 午後2時から同4時：環境省第8会議室

○ 出席委員5名：菊水建史委員 高木智春委員 細井戸大成委員
小島章義委員 崎田克康委員 (欠席：太田勝典委員)

○ オブザーバー：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
今西 保 室長補佐 岸 秀蔵 指導企画係長

○ 議 事 等

(1) 第2回検討会議事概要等について

(2) 犬猫幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査検討について

ア 第2回検討会関連事項報告等について

(ア) オークションに出荷される日について

(イ) 平成26年度調査計画・具体的スケジュール(案)等について

(ウ) C-barq(犬)回答用紙について

イ 猫の問題行動把握アンケート項目(案)について

ウ 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料の作成について(チラシ等の電子データの作成(案))

(3) その他

○ 第3回検討会のまとめ

今後の調査スケジュール等の検討を行い、以下のとおり承認された。

(1) 本格調査に関し、頭数を集める手段について適切に整備することが

重要

- (2) 協力飼い主及び協力店舗には、どの様なものを渡して協力を得るかを検討する必要がある。
- (3) アンケートに関しては、インターネットを利用して、質問・回答を得る方法が、経費及び回答率の観点から適切なものとなるのであればその方法・手段を検討する必要がある。
- (4) 専門家委員がデモサイトを含め早急に作成し、検討会委員等に提示してその結果を基に「チラシ」、「承諾書」等の内容の整備を図る。
- (5) 次年度は、できるだけ早い時期からスタートが望ましい。
 - 5月スタートを検討する必要がある。
 - 4月から調査協力団体には個別に相談を進める必要がある。
 - 7月位にはアンケート協力依頼を開始したい。

4 検討会における調査手法の検討結果等

(1) 犬に関する調査手法等について

ア 犬に関する調査手法

国内での犬幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査・研究等についての情報交換を行った。

出席委員からは、動物行動治療に関する研究等の情報はあるが、幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期の調査に適する手法については、米国ペンシルベニア大学のサーペル(Serpel)博士により最初に開発されたWEBシステム(2006年(平成17年)運営開始)を、2010年(平成22年)に麻布大学菊水健史教授等が改良し、日本国内で運営が開始された「イヌの行動解析システム(C-barq)」や、協力ブリーダー等による研究室レベルでの調査(研究)など特別な事例を対象とした調査研究等はあると思われるが、幅広い犬種を対象として、精度をより高めた科学的な統計解析の結果を出すにはこの「C-barq」が最も良い方法との意見であった。

そこで、本検討会では、今期検討テーマである「幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査手法」は、菊水健史教授等の指導・協力を得ながら「C-barq」を用いた集計・解析手法が妥当であるとし、今期に確保した個体についても、来期以降に「C-barq」を用いた集計・解析等を行うべきであるとした。

なお、専門家委員から「C-barq」を用いた集計・解析を行うための具体的なアンケート調査時期としては、当該犬・猫の販売後6ヶ月程度を経過してから行うことが必要であるとの意見があった。

イ 犬に関する調査、評価等

「C-barq」では、まず、個人飼い主が登録を行い『10の生活場面』が設定され、合計『80問の質問項目(答える選択肢は140程度)』に対して、行動発現頻度を5段階評価で回答を得る。この回答データから因子分析で13の因子が抽出(行動特性の客観的数値化)されることとなる。

出席委員から、本業務では回答者(犬の飼い主)が答え易いようにする必要があるとの意見があったことから、基本的に「C-barq」を活用し、動物行動治療に関する獣医動物行動研究会調査票を参考にしながら、一般飼い主が回答しやすい設問数や表現とすべきであるとし、実際の調査項目については、「C-barq」の質問項目を検討・整理し、本業務の主眼である「犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期を検討するための項目」(社会性に関

する8つの気質に係る項目等)を設定することが妥当とされた。

しかし、その後の検討会で「C - barq」運営側から、これまでの経験から紙ベースであっても、それ程は回答者(飼い主)の負担とはならないと想定されるので、社会性に関する8つの気質だけでなく、残り5つの気質を含めた回答があれば、より充実した個別解析結果が可能であるとの意見が寄せられ、第3回検討会でその旨了承され、また、設問(質問)・回答方法に関しては、コスト、迅速性等を考慮し、インターネット経由で行うことを基本とすることが妥当であるとの意見であった。

なお、「C - barq」運営側からは、設問項目の著作権等の知的財産権は、「C - barq」運営側に帰属するものである旨の説明もあった。

(2) 猫に関する調査手法等について

ア 猫に関する調査手法

国内での猫幼齢個体を、親等から引き離す理想的な時期に関する調査・研究等についての情報交換を行ったが、出席委員からは、犬の解析システム「C - barq」に相当するような猫に関する調査手法は現状では見当たらないとの意見であった。

検討の結果、情動に絡む行動は犬猫に共通している部分が多く、犬の行動解析システム(「C - barq」)の設問を猫に置き換える(アレンジする)ことで、個々の猫の行動の頻度を数値化すれば統計処理が可能であるとの意見があったので、犬の行動解析システム「C - barq」の設問項目をある程度少なくする検討を行い、その結果、気質レベルで8項目程度に絞り「C - barq」をアレンジした集計・解析等を行うことが妥当とされた。また、設問(質問)・回答方法に関しては、コスト、迅速性等を考慮し、インターネット経由で行うことを基本とすることが妥当であるとの意見であった。

(本項Ⅱ-6-(3)「猫の問題行動把握のための一般飼い主へのアンケート」
調査項目等の検討」を参照)

イ 猫に関する調査、評価等

犬の行動解析システム「C - barq」の設問を、猫用にアレンジした設問設定を前提に、第2回検討会で提出された「猫の『行動パターン』と『頻度』等の具体案」を基に検討した結果、「猫のアンケート調査項目」(Ⅱ-6-(3))として取りまとめられたが、実際の集計・解析等に関しては場合によっては専門の機関等に委ねる必要があるとされた。

また、調査等に伴い「C - barq」のようなものが無い猫の気質(性格)分析等は、相当の時間的余裕が必要となるとされた。

(3) スケジュールについて

ア 今期検討会スケジュール

第1回検討会において、今期検討会に係るスケジュールについて、出席委員の了承を得た。

イ 今後の調査計画予定等の検討

親等から引き離し年月日が明確な幼齢個体を購入した飼い主を対象に、当該個体について、その後の飼い主による通常の飼育管理下での問題行動発現状況等を追跡調査(アンケート調査)し、更に、この調査での回答内容を統計的に解析し、当該個体の行動評価等を行うスケジュールとして、平成25年度から平成30年度までの間のスケジュールは以下予定とし、出席委員の了承を得た。

(ア) 平成25年度調査計画

1月～3月	<ul style="list-style-type: none">・ 専門家等による検討会(調査手法等の検討、3回開催)・ 調査手法等にかかる一般飼い主、販売店等への広報資料の作成・ マイクロチップ施術(試行調査、犬猫併せて300頭)
-------	--

(イ) 平成26年度調査計画予定

5月～8月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会の開催(試行的調査(平成25年度)の検証)・ マイクロチップ施術(45～49日齢の犬猫併せて3,000頭以上)
9月～10月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート送付(試行的調査の300頭)
10月～11月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート回収、性格シート送付(試行的調査の300頭)
2月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート送付
2月～3月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート回収、性格シート送付・ 検討会開催(来年度の調査検討)

(ウ) 平成27年度調査計画予定

5月～6月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会開催・ マイクロチップ施術(45日～49日齢の犬猫併せて1,000頭以上)
12月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート送付
12月～1月	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート回収、性格シート送付
2月～3月	<ul style="list-style-type: none">・ 検討会開催

(エ) 平成 28 年度調査計画予定

5月～8月	・ 検討会開催
9月1日	(49日齢規制施行)
9月～12月	・ マイクロチップ施術(49日～56日齢の犬猫併せて3,000頭以上)
2月～3月	・ 検討会開催

(オ) 平成 29 年度

5月～6月	・ 検討会開催 ・ マイクロチップ施術(49日～56日齢の犬猫併せて1,000頭以上)
6月	・ アンケート送付
6月～7月	・ アンケート回収、性格シート送付
12月	・ アンケート送付
12月～1月	・ アンケート回収、性格シート送付
2月～3月	・ 収集したデータの解析 ・ 検討会開催

(カ) 平成 30 年度

9月1日(改正法施行後5年目)

単位:頭

	45日以下	45日～49日	49日～56日	56日以上	合計
平成25年度		300			300
平成26年度		3000以上			3000以上
平成27年度		1000以上			1000以上
平成28年度			3000以上		3000以上
平成29年度			1000以上		1000以上
合計		4300以上	4000以上		

※犬は、使えるデータで、45日～49日及び49日～56日、それぞれ3000頭を目指す。

(これまでの調査では、使えるデータは、依頼したうち6割程度。)

※猫は、販売頭数も少ないため、犬の1/5程度でデータが取れると思われる。

(4) 取りまとめ方法

今後の調査計画(追跡調査(アンケート調査))の具体的取りまとめ方法等について検討した結果は以下のとおりであった。

ア アンケート調査対象の確保及び取りまとめ

(ア) 調査対象

今期同様に「ZPK」の協力を得ながら、各年度規模に応じて、協力会員店舗で犬猫を購入する者を対象として「協力飼い主」を確保していくとされた。

(イ) 協力店舗

「ZPK」の協力を得ながら、販売犬猫にマイクロチップを施術している会員店舗であって、アンケート調査の精度を確保するために、対象予定数の80%程度は登録内容をデータ化している会員店舗を対象とすることが望ましいとされた。

(ウ) 協力飼い主が購入する犬猫に関するデータ登録

購入者(飼い主)の了解の基に、当該犬猫等販売業者がそれぞれの飼い主情報等を公益社団法人日本獣医師会の動物ID情報システムに登録して、当該犬猫の万一の逸走等に備えることとされた。

(エ) マイクロチップ施術費、データ登録費

協力飼い主が購入する犬猫に対するマイクロチップ施術費及びデータ登録費は、今期試行調査と同様に環境省調査に必要な協力費として請負者側で負担することとされた。

(オ) 承諾書及び協力飼い主名簿

今後の環境省調査事業に協力を承諾した犬猫の購入者(飼い主)からは承諾書を徴し、承諾書及びデータ登録内容を基に、以後のアンケート調査に備えることとされた。

イ 来期以降予定するアンケート調査(追跡調査)の実施

(ア) アンケート調査等

① アンケート調査様式等

検討会での検討結果を踏まえた「アンケート調査フォーマット(設問及び設問ごとの想定場面の有無選択回答と自由記述回答併記)」を作成することとされた。

② 設問数の検討等

「C-barq」運営側からは、社会性に関する8つの気質だけでなく、残り5つの気質を含めた設問・回答があれば、充実した個別解析結果が可能であり、現在の「C-barq」全問の回答が適切であるとの意見を踏まえ、13の気質に関する設問とすることとされた。

- ③ 設問項目の著作権等
知的財産権は、「C - barq」運営側に帰属することに考慮する必要があるとされた。
- ④ アンケート調査・回答方法等
当該犬猫の飼養開始後6ヵ月程度を過ぎた時点で、協力者名簿を基にインターネットを経由(オンライン)した方法を主として回答協力を願ひ、回答期限を設定する必要もあるとされた。

(イ) アンケート調査の回答方法等

- ① 回答方法等
犬のアンケート調査の回答は、インターネット経由の回答入力方法を主とするとされた。
- ② 回答期限を設定する必要がある。

(ウ) アンケート調査回答内容の集計・解析等

- ① 犬の集計・解析
「C - barq」を用いて行う。
- ② 猫の集計・解析
「C - barq」をアレンジした方法で行う。
- ③ 経費等
アンケート調査、データ集計、統計解析等に係る経費は、別途必要となる。

(エ) アンケート調査協力飼い主への当該動物の気質(性格)等のフィードバック

協力飼い主へ当該犬猫の「気質(性格)」に関するコメント(フィードバック)は、後日回答者に送付することとされた。

ウ 今後の調査計画(追跡調査(アンケート調査)等)の具体的スケジュール等

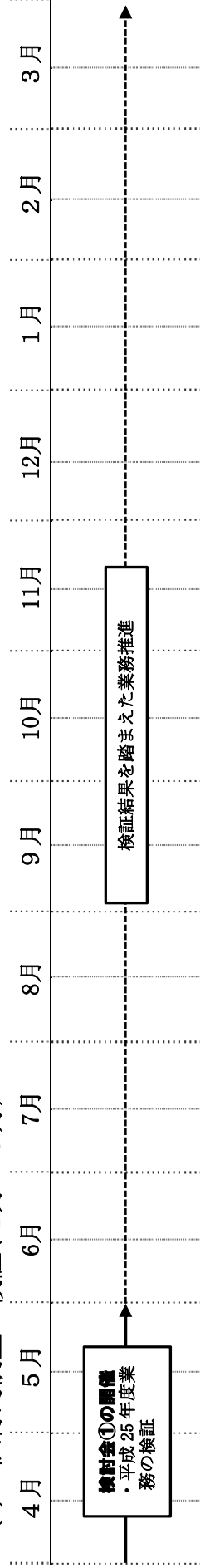
(別紙「調査計画の具体的スケジュール」を参照)

別紙：「調査計画の具体的スケジュール」

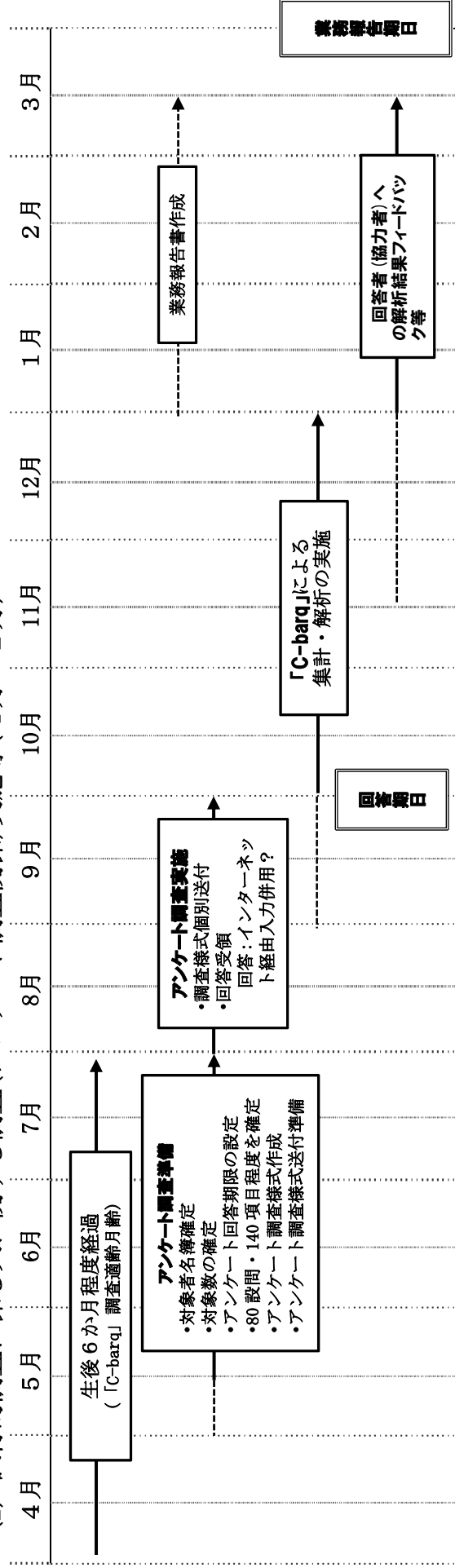
追跡調査(アンケート調査)等の具体的なスケジュール等：平成26年度調査計画の例

1 検討会の開催 … 当初計画予定：4月～5月

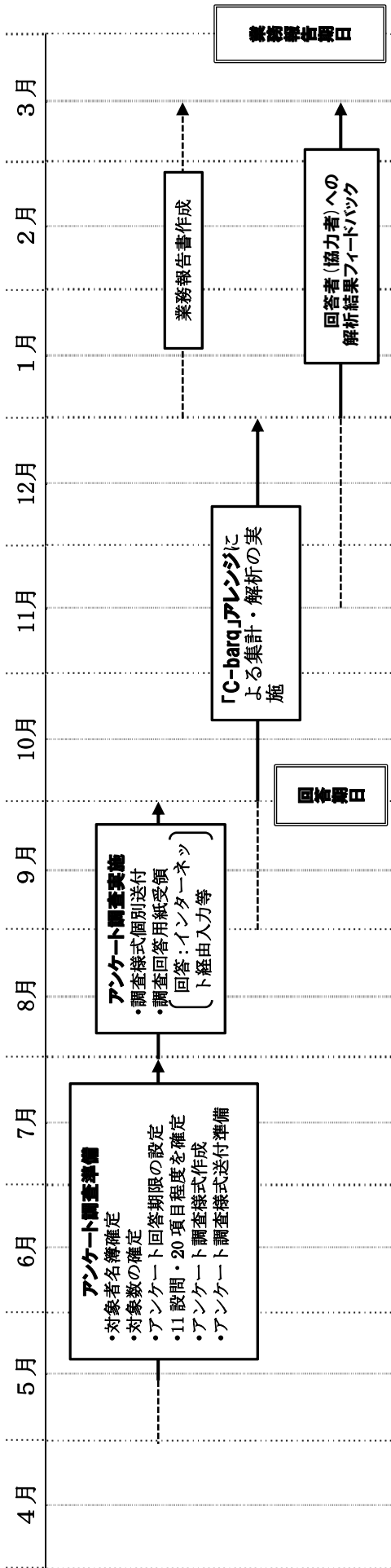
(1) 試行的調査の検証(4月～5月)



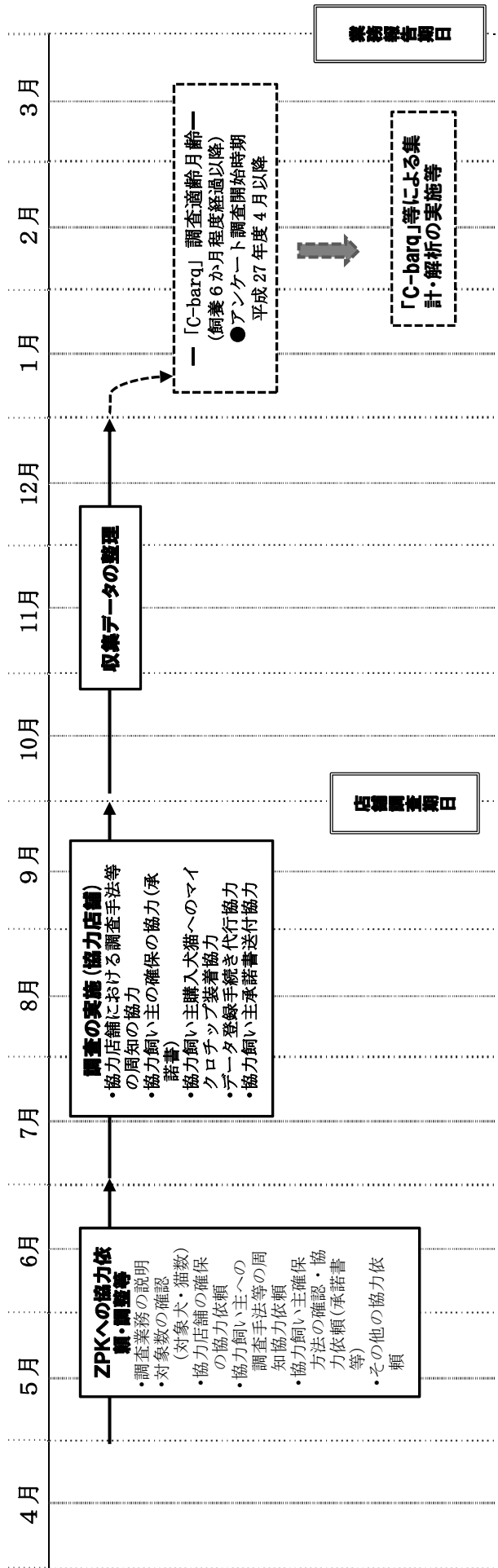
(2) 試行的調査に係る大に関する調査(アンケート調査関係)実施等(4月～2月)



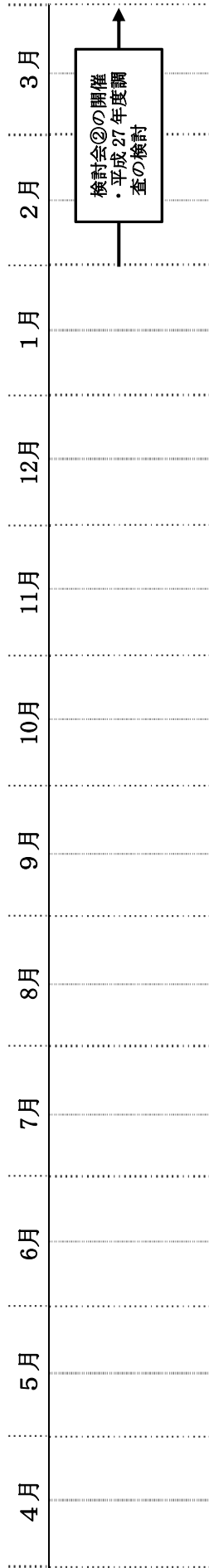
(3) 試行的調査に係る猫に関する調査実施等(4月～2月)



2 調査実施(協力飼い主(犬・猫合計3,000頭(名)以上の確保等) … 当初計画予定: 6月～3月



3 次年度調査検討会の開催 … 当初計画予定：2月～3月



犬猫幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査のスケジュール（骨子）

平成25年度

1月～3月

- 専門家等による検討会（調査手法等にかかる検討、3回開催）
- 調査手法等にかかる一般飼い主、販売店等への広報資料作成
- マイクロチップ施術（試行調査 犬猫併せて300頭）

平成26年度

5月～8月

- 検討会開催（試行調査の検証）
- マイクロチップ施術（45～49日齢の犬猫併せて3,000頭以上）

9月～10月

- アンケート送付（試行調査の300頭）

10月～11月

- アンケート回収、性格シート送付（試行調査の300頭）

2月

- アンケート送付

2月～3月

- アンケート回収、性格シート送付
- 検討会開催（来年度の調査検討）

平成27年度

5月～6月

- 検討会開催
- マイクロチップ施術（45～49日齢の犬猫併せて1,000頭以上）

12月

- アンケート送付

12月～1月

- アンケート回収、性格シート送付

2月～3月

- 検討会開催

平成28年度

5月～8月

- 検討会開催

9月1日（49日齢規制施行）

9月～12月

- マイクロチップ施術（49日～56日齢の犬猫併せて3,000頭以上）

2月～3月

- 検討会開催

平成29年度

5月～6月

- 検討会開催
- マイクロチップ施術（49日～56日齢の犬猫併せて1,000頭以上）

6月

- アンケート送付

6月～7月

- アンケート回収、性格シート送付

12月

- アンケート送付

12月～1月

- アンケート回収、性格シート送付

2月～3月

- 収集したデータの解析
- 検討会開催

平成30年度

9月1日（改正法施行後5年目）

単位：頭

	45日以下	45日～49日	49日～56日	56日以上	合計
平成25年度		300			300
平成26年度		3000以上			3000以上
平成27年度		1000以上			1000以上
平成28年度			3000以上		3000以上
平成29年度			1000以上		1000以上
合計		4300以上	4000以上		

※犬は、使えるデータで、45日～49日及び49日～56日、それぞれ3000頭を目指す。

（これまでの調査では、使えるデータは、依頼したうち6割程度。）

※猫は、販売頭数も少ないため、犬の1/5程度でデータが取れると思われる。

5 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料の作成


検討会での検討内容等を踏まえて、犬猫の購入者や購入希望者等の一般向けに、調査手法等について広く広報するためのチラシの電子データを作成した。

(1) 検討会での検討経過等

ア 第1回検討会での検討状況


「試行的な調査」実施時に、「ZPK」会員協力店舗で犬猫の購入者に今後の調査協力を願うために作成した業務説明用チラシを、来期に向けた「一般飼い主や店舗等への普及広報資料作成」の検討素材として第1回検討会で用いて意見等を求めた。

- (ア) 第1回検討会参考資料(「試行的な調査」時使用チラシ)
検討会で検討素材としたチラシは以下のものである。



新しくわんちゃん・ねこちゃんの飼い主になる方へご協力をお願い

環境省アンケート調査に必要なマイクロチップ施術料等は無料です



わんちゃん、ねこちゃんをご購入された皆様へアンケートご協力をお願いします。
わんちゃん、ねこちゃんが生まれてから一定期間、親、兄弟と過ごす時期は「社会化期」と言われ、親兄弟と遊んだりする中で社会性を身につけ、家族の一員として飼い主さまと共に生活するために大切な時期と言われています。
この社会化期の適切な期間について環境省が調査をしています。
そこで、新しく飼い主になる皆様にご協力いただき、社会化期に関する多くの調査をすることで、今後、さらにペットと人が幸せに暮らせるより良い社会づくりを進めていきたいと考えています。
アンケート調査に必要なマイクロチップの施術料と登録料は無料とさせていただきます。ぜひご協力ください。

飼い主様にしていただくこと
○ご購入後半年程度を過ぎた時点で環境省がアンケート用紙を送付しますのでご協力いただけます。
(頂きました個人情報、適切に管理し「環境省アンケート調査」及び「迷子等の際の飼育者探し」にのみ使用します。)
ご不明な点は下記までご連絡をお願いします。
環境省「平成25年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討業務」
(お問い合わせ先) 業務担当：公益社団法人 日本獣医師会 電話03(3475)1695
東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23F

承 諾 書

公益社団法人 日本獣医師会 殿

この度の、(子犬・子猫)の購入に際し、環境省「平成25年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討業務」に関して、環境省が後日に実施するアンケート調査に協力を承諾します。

平成28年 月 日
飼い主さま(協力承諾者) 氏名

販売店記入欄

生年月日：平成 年 月 日 生まれ

親等からの引き離し、または仕入れた日：平成 年 月 日 (引き離し・仕入れ)
どちらかに○をつけて下さい

マイクロチップ番号

3	9	2	1	4															
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

販売店名・印

(イ) 第1回検討会での普及広報資料作成に関する意見・提案等の概要


<p>◎ 調査に必要なマイクロチップ施術料等に関する飼い主(購入者)あての告知</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクロチップの装着に関しては、本事業に協力できる店舗では販売前に犬猫に装着済みであり、かつ、販売時に購入者から徴収するマイクロチップ装着等の経費は店舗によって差がかなりあることから、普及広報用チラシに、「環境省事業に必要なマイクロチップ施術料等は無料」との表記は、本格実施では店舗によっては購入者が混乱する可能性がある。 本格調査時のマイクロチップ施術費等の算定は、犬猫等販売業における現状を考慮した計画等を希望する。 協力飼い主(購入者)が、購入時に店舗に支払う「装着・登録・ワクチン接種等」の料金の中で無料となる部分を明確に示す必要がある。
<p>◎ 調査協力飼い主(購入者)のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力飼い主(購入者)がメリットを感じるような表現が必要 アンケート調査協力飼い主(購入者)には、表現を一般向けにした当該犬・猫の分析結果をフィードバックしたら如何か。 調査協力者が犬猫との生活に安らぎ等を感じる内容が必要
<p>◎ 犬猫の購入者や購入希望者等の一般向け普及広報資料の配布方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行的調査同様に、「ZPK」会員協力店舗を中心にした配布を前提に考えることでどうか。 協力店舗としてのメリットを感じるような表現が必要

イ 第2回検討会での検討状況


(ア) 第2回検討会での検討資料

第1回検討会の意見等を考慮し作成した「一般飼い主や店舗等への普及広報資料」の検討素材として以下の3案を示して検討した。

(案-1)



環境省から、ワンちゃん、ネコちゃんをご購入される皆様にご協力をお願いします。



生まれて間もないワンちゃん、ネコちゃんの一つ一つの動作や行動は、それは可愛いものです。

しかし、親や兄弟とあまりにも早く引き離されることで、後々、新しい飼い主の方の下で、ご家族の一員として成長していく上で飼い主の方の言うことを聴かなくて困っている等を耳にすることがあります。


ワンちゃん、ネコちゃんは、生まれてから一定の期間、親や兄弟と遊んだり過ごす中で社会性を身に付けることで、後々、家族の一員として問題となる咬み癖や吠え癖等の攻撃性、興奮性や不安行動等を引き起こす可能性が低くなると考えられています。この社会性を身に付ける時期を「社会化期」と言われています。

そこで環境省では、新しく飼い主になる皆様にご協力を頂き、幼齢なワンちゃん、ネコちゃんの社会化期についての多くの調査をすることで、今後、さらに家族の一員としてワンちゃん、ネコちゃんと共に幸せに暮らせるより良い社会づくりを進めていきたいと考えています。


このためには皆様のご協力が必要となりますので、今後環境省で行います調査にご協力を是非お願いします。

お問合せ先
環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
〒100-8978 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話 03(355)3351 内線・・・

(案-2)



環境省から、ワンちゃん、ネコちゃんをご購入される皆様にご協力をお願いします。



生まれて間もないワンちゃん、ネコちゃんの一つ一つの動作や行動は、それは可愛いものです。

しかし、新しい飼い主の方の下で、ご家族の一員として成長していく中で、飼い主の方の言うことを聴かなくて困っている等を耳にすることがあります。このような問題は、親や兄弟とあまりにも早く引き離されることで起こると言われています。

ワンちゃん、ネコちゃんは、生まれてから一定の期間、親や兄弟と遊んだり過ごす中で社会性を身に付け、後々、家族の一員として問題となる咬み癖や吠え癖等の攻撃性、興奮性や不安行動等を引き起こす可能性が低くなると考えられています。この社会性を身に付ける時期を「社会化期」と言われています。

そこで環境省では、新しく飼い主になる皆様にご協力を頂き、幼齢なワンちゃん、ネコちゃんの社会化期について、より多くの事例を集めて、親兄弟から引き離す理想的な時期の調査をさらに充実させ、家族の一員としてワンちゃん、ネコちゃんと共に楽しく暮らせるより良い社会づくりを進めていきたいと考えています。

このためには皆様のご理解とご協力がぜひとも必要となりますので、今後環境省で行います調査に是非ご協力をお願いします。

お問合せ先
環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
〒100-8978 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話 03(355)3351 内線・・・



環境省から、ワンちゃん、ネコちゃんを
ご購入される皆様にご協力をお願いします。



家族の一員としてのワンちゃん、ネコちゃんの愛らしい動作や行動は、共に暮らす飼い主・家族にはかけがえのないものとなっています。

ワンちゃん、ネコちゃんは、生まれてから一定期間は、その親や兄弟と遊んだりして過ごし、その後、飼い主などの人間社会で過ごす中で社会性を身に付ける「社会化期」が必要とされています。

しかし、時として咬み癖や吠え癖に悩まされる飼い主の方の声を耳にすることがあります。このような事例の多くはワンちゃん、ネコちゃんが幼齢期に社会性を身に付けていないため、後々、家族の一員として問題となる攻撃性、興奮性や不安行動など問題となる行動が起きると考えられています。

そこで環境省では、飼い主の皆様のご協力を頂き、幼齢なワンちゃん、ネコちゃんの社会化期や、その後、飼い主の方やご家族の方と過ごす際の問題となる行動について多くの調査をすることで、今後、さらにご家族の一員としてワンちゃん、ネコちゃんとともに暮らせるより良い社会づくりを進めていきたいと考えています。

このためには、皆様のご協力が是非とも必要となりますので、今後、環境省が予定しております調査にご協力をお願いいたします。

お問合せ先

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

〒100-8976 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話 03(358)3331 内線・・・



(イ) 第2回検討会での普及広報資料作成に関する意見・提案等の概要

◎ チラシ等の内容に関する主な意見等

- チラシ、ビラに関しては、一般的には5～10行程度しか読まれないことが多いと心理学では言われているが、より多くの人に知ってもらい、協力してもらうことが重要
- 重要な所に下線を引く、字を大きくする。
- これから楽しく飼おうとする飼い主へ不安要素を持たせると、アンケートに答えて貰いにくくなるので、文言を考慮すべき。
- 来期以降、①不特定多数の人を対象、②販売する人と調査対象、2種類作ると良い。
- 環境省調査協力店舗シール等を考えてはどうか。

◎ マイクロチップ施術等に関する主な意見等

- 来期に数を増やした場合、マイクロチップを扱っていない店舗や登録の問題も出てくるのでは。
- 登録に関して、今期はデータで登録事務を行っている店舗としているが特に問題はないか。
- 登録事務をデータ化している店舗でアンケートを集めるのは精度がよくなるのではないか。
- データ化することで各協力店舗が同じような方法で出来る。
- 動物病院を持つ店舗(企業等)であれば対応可能だがそうでない店舗もある。データとして問題はないのか。→ やり方により特に問題はないと思う。
- 来期以降のマイクロチップ施術料は。マイクロチップを措置している犬猫等販売業では7,000円～8,000円では。→ 来期調査等の予算及び実施規模(頭数)等によることとなるが、施術料は、店舗ごとばらばらであると対応が難しい。
- マイクロチップ施術料は、全額補助でなく来期以降アンケート調査協力費と

して一部補助等としてはどうか。

◎ その他の主な意見等

- C-barqでは7つのタイプが分かる。アンケート協力者には該当する犬・猫のタイプをお知らせすると回答率は上がると思う。
- ショップに滞在する期間も影響するのでは。→ 大事な因子になる。
- ショップに入るまでのばらつきは。→ 入荷日は明確にわかる。→ 情報として入荷日及び販売日は必要

(2) 一般飼い主や店舗等への普及広報資料の検討結果

ア 第1回及び第2回検討会での意見等

- 文書は「短く」、内容は「前向き・プラス志向的(ポジティブな内容)」なものとするべき。
- アンケート調査協力者には、その犬の気質(性格)をお知らせすることで、回答率向上につながる。
- マイクロチップについては議論し値段も再検討することとする。

イ 第3回検討会での検討状況

第1回及び第2回検討会での検討経過を踏まえたチラシ(案)を基に検討した。

【 出席委員の意見等 】

- | |
|--|
| ◎ 本チラシ案は好感が持てる。文言等は変わると思われるが大枠はこれで良いか → 来期に作成する場合は環境省の指示を受け修正することになる。 |
| ◎ ZPK協力店舗で使用するには3,000枚程度で良いか。→ ポスターが1,000枚程度あると良い。 |
| ◎ チラシを配るだけではなく、当該店舗が協力店舗であるとするポスターを使用し、購入者には「C-barq」の内容及び半年程度後にアンケート調査が行われることを周知する必要がある。→ このチラシをポスターに加工すればよい。「C-barq」の内容説明に関するデモ用(店頭周知用)の者が必要。 |
| ◎ 協力店舗である旨を表示するもの(ポスター等)を検討すべき。 |
| ◎ チラシには、「当該店舗で購入される皆様へ」等の文言をチラシに表示しておく必要がある。 |

ウ 第3回検討会での意見を踏まえたチラシ(案)の作成

検討会意見等を踏まえ一部修正を加え次ページの「調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料チラシ(データ)」として作成した。

当店でワンちゃん、
ネコちゃんを
購入される
皆様へ

ワンちゃん、ネコちゃんと共に暮らすより良い環境づくりのために…

環境省からのお願い

アンケートに ご協力ください。

幼いワンちゃん、ネコちゃんが、新しい飼い主の方の、ご家族の一員として健やかに成長していくためには、生まれてから一定の間、親や兄妹たちと遊んだりして過ごす中で社会性を身につける「社会化期」が必要だと言われています。

環境省では、幼いワンちゃん、ネコちゃんに必要な「社会化期」について、半年程度後にアンケートを予定しています。新しく飼い主になる皆様にご協力を頂き、より多くの事例を集め、親兄弟と過ごす理想的な期間について調査を充実させ、ご家族の一員として共に暮らすより良い環境づくりを進めて参ります。

マイクロチップ
装着&登録で
安心だワン!

このアンケートで
私たちの性格も
分かるそうニャ



アンケートにご協力頂くと、
マイクロチップ施術と
飼育者情報登録費用の一部助成
と、

ワンちゃんネコちゃんの
性格タイプ診断カルテ進呈
致します。

お問合せ先
■業務請負者

■業務発注者
環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
中央合同庁舎5号館
TEL: 03-3581-3351 (代表)



【 参考：承諾書案 】



承 諾 書 (案)

環境省業務請負者.....あて

私は、この度の（子犬・子猫）の購入に際し、環境省が後日に行う「犬猫幼齢個体を親
(どちらかに○をつけて下さい)

兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討業務」についての「アンケート調査」に協力
することを承諾します。

(ご 記 入 日) : 平成.....年.....月.....日

(ご購入された日) : 平成.....年.....月.....日

(ご 住 所 地) :都・道・府・県.....区・市・町・村
(お住まいの都道府県・区市町村名のみのご記入をお願いします。)

(お 名 前) :

(Eメールアドレス) :
(Eメールアドレスをお持ちの方は、ご記入ください。)

頂きました個人情報は適切に管理し「環境省アンケート調査」及び「迷子等の際の飼育者探し」にのみ使用します。

【販売店様ご記入欄】

- (子犬・子猫)の生年月日: 平成 年 月 日 生まれ
(どちらかに○をつけて下さい)
- 親等から引き離された日: 平成 年 月 日 引き離し
(不明の場合は記入しないでください)
- 仕 入 れ た 日: 平成 年 月 日 仕入れ
- 購入希望者に販売した日: 平成 年 月 日 販 売
- マイクロチップの番号(下10桁の番号をご記入ください。)

3	9	2	1	4															
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

販売店名(ゴム印等で可)

6 試行的な調査の実施

親等から引き離し時期を考慮して仕入れ販売される犬猫について、販売後に購入者の下で飼養管理された状況での問題行動等の発生状況に関して、今後本格的に調査を実施していくための検討材料を得る目的で試行的な調査を実施した。

- 調査に当たっては、「ZPK」の協力を得て国内各地におけるZPK会員の犬猫販売店と犬猫の購入予定者を対象として、当該調査手法等を説明の上で追跡調査等を含めた今後の調査協力購入者314名(予定規模300名程度)を確保した。
- 本調査では、協力合意を得られた購入者の購入犬269頭、猫45頭、併せて314頭(予定規模300頭程度)にマイクロチップを施術した。
- 調査協力に合意を得られた購入者(314名)及びその購入犬猫(314頭)に関しては、犬猫の生年月日や親等からの引き離し時期等の情報を聴き取るなど、今後予定される飼い主へのアンケート調査に備えるとともに、それぞれの飼い主情報等を公益社団法人日本獣医師会の動物ID情報システムに登録(通常協力店舗からの飼育者代理申請の例(データ化申請)により登録)して、当該犬猫の万一の逸走時等に備えた。
- 調査に当たっては、猫の問題行動を把握するための、一般飼い主へのアンケート調査の項目等についても検討した。

(1) 協力犬猫等販売業及び協力犬猫購入予定者の確保結果

「ZPK」の協力を得て、同会会員協力5社の店舗において幼齢の犬猫購入者に「チラシ『新しくわんちゃん・ねこちゃんの飼い主になる方へのご協力をお願い』」を配布して今後のアンケート調査への協力を依頼し、314名の調査協力者及び314頭の犬猫を確保した。

【協力5社(順不同)】

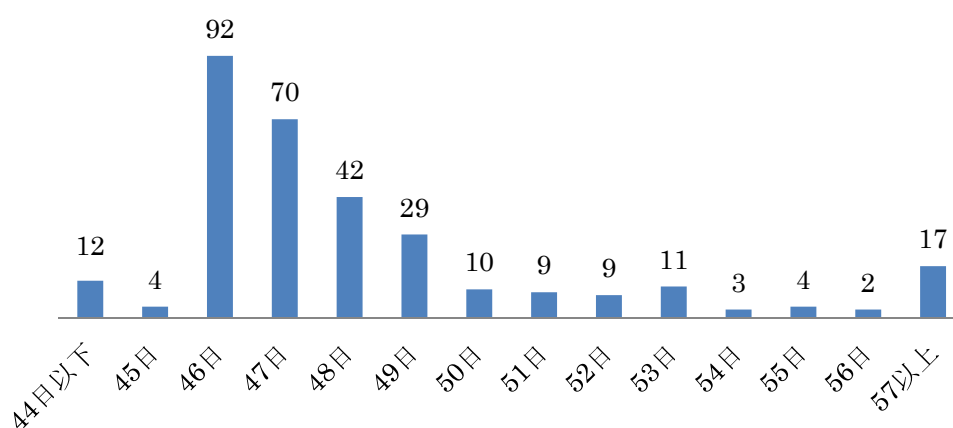
協力犬猫等販売業	協力犬猫購者		
	犬購入者(頭)	猫購入者(頭)	合計
A社(本社：東京都)	97	15	112
B社(本社：東京都)	41	11	52
C社(本社：大阪府)	41	9	50
D社(本社：愛知県)	50	0	50

E社（本社：大阪府）	40	10	50
------------	----	----	----

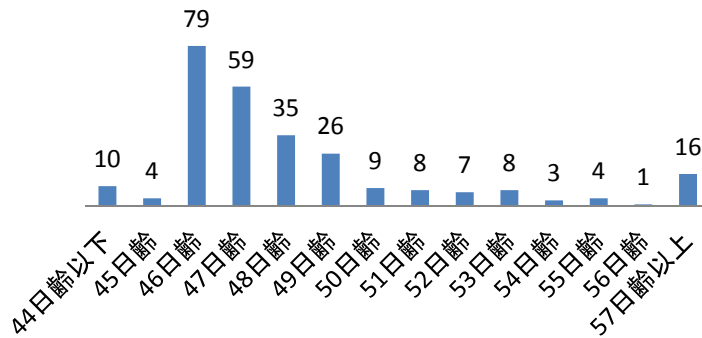
(2) 親等からの引き離し時期について

協力合意購入者が購入した犬・猫合計 314 頭について、それぞれ親等から引き離された時期(「仕入日」)について当該販売店舗から聴取りを行った。

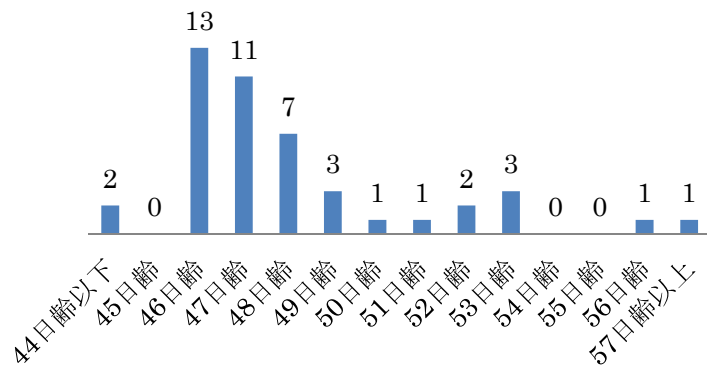
仕入れ日齢	頭数	犬 ⁽²⁶⁹⁾	仕入れ日齢	頭数	犬 ⁽²⁶⁹⁾
		猫(45)			猫(45)
44日齢以下	12	10	51日齢	9	8
		2			1
45日齢	4	4	52日齢	9	7
		—			2
46日齢	92	79	53日齢	11	8
		13			3
47日齢	70	59	54日齢	3	3
		11			—
48日齢	42	35	55日齢	4	4
		7			—
49日齢	29	26	56日齢	2	1
		3			1
50日齢	10	9	57日齢以上	17	16
		1			1



【参考】仕入れ日齢：犬269頭



【参考】仕入れ日齢：猫45頭



- 引き離された時期(「仕入日」)44日齢以下、57日齢以上の内訳

44日齢以下 12頭	犬=10	39日齢=1頭、40日齢=1頭、41日齢=1頭、42日齢=4頭 43日齢=2頭、44日齢=1頭
	猫=2	35日齢=1頭、37日齢=1頭、
57日齢以上 17頭	犬=16	57日齢=4頭、58日齢=1頭、59日齢=2頭、60日齢=1頭 61日齢=1頭、62日齢=2頭、67日齢=2頭、68日齢=1頭 70日齢=1頭、86日齢=1頭
	猫=1	57日齢=1頭

- 犬猫別平均仕入れ日齢 犬：48.53日齢 猫：47.61日齢
○ 平均販売日齢 92.08日
○ 犬猫別平均販売日齢 犬：92.58日齢 猫：89.13日齢

(3) 猫の問題行動把握のためのアンケート調査項目の検討

試行的調査では、猫の問題行動を把握するための一般飼い主へのアンケート調査の項目等について、第1回検討会で「猫に関する調査手法の検討」を

行い、更に第2回・第3回検討会において項目等の検討を行った。

ア 第2回検討会における検討等

事務局が作成した検討案(次ページ「検討案(「行動パターン」と「頻度」等の具体案)」)を基に、出席委員による討議等を行った。

検討案は、「攻撃」、「恐怖・不安」、「その他」に分類し、「原因」、「対象」、「行動を示す場面での行動パターン」と「頻度」に関して、回答者が選択して回答する方法を基に検討した。

イ 第3回検討会における検討等

事務局が作成した検討案(「猫の問題行動把握のための一般飼い主へのアンケート調査の項目等」)を基に、出席委員による討議等を踏まえ、「猫の問題行動把握のためのアンケート調査項目」として取りまとめた。

猫の問題行動を把握するための一般飼い主へのアンケート調査の項目(案)等

分類	原因	対象	場面等
攻 撃	遊び関連攻撃 (捕食攻撃行動含む。)	飼い主 家族(同居人)	遊びの途中で、あなた又は家族(同居人)の手や足に向かってとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	恐怖関連攻撃	飼い主 家族(同居人)	あなた又は家族(同居人)が近づく時、あるいは急な動きをした時、愛猫があなた又は家族(同居人)に向かってとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	テリトリー関連攻撃	飼い主 家族(同居人)	愛猫がご飯を食べている最中に、あなた又は家族(同居人)が愛猫に近寄る時、あなた又は家族(同居人)に向かってとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
		同居猫	① 愛猫がご飯を食べている最中に… ② 寝床の取り合いに際して… ③ 通路などで出会う場面で… 同居猫が愛猫に近寄る時、その同居猫に向かってとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	テリトリー 及び恐怖関連攻撃	家族以外 (非同居人)	愛猫の見知らぬ“人”があなたの家を訪れる時にとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	転嫁関連攻撃	飼い主 家族(同居人) 同居動物	鳥や小動物が窓から見える時、無関係のあなた(家族(同居人)、同居動物、物)に向かってとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
恐怖 ・ 不安	恐怖	—	愛猫の見知らぬ“人”があなたの家を訪れる時にとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	不安	—	大きな音がした時にとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
そ の 他	癲癇、発作	—	愛猫が、音や匂い、動きなどの刺激を受ける場面での行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>
	友好性・愛着	—	あなた又は家族(同居人)が室内で愛猫と一緒にいる時に、あなた又は家族(同居人)に対してとる行動パターン・頻度 → <u>選択回答</u>

「猫の問題行動把握のための一般飼い主へのアンケート調査の項目等」

氣質分類	アンケート調査の項目等		(回答方法)		(備考)	
	対象(離に)	場面(どのような時に)	行動(愛猫のとる行動は)	頻度(選択)	原因	考(飼い主向け(性格分析等の表現))
行動特性	飼い主 同居家族	遊びの中で、あなた又は同居家族の方の手や足に向かって	次の行動はありますか？ ・ うなる(“ウー”という) ・ 歯をむく ・ “シャーシャー、フーズ”という ・ 軽く引っ掻く、軽く咬む	1 ない 2 とまどき 3 しほしほ 4 たいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	遊び関連攻撃 (捕食攻撃行動含む)	強い 弱い 強い 強い
	飼い主 同居家族	あなた又は同居家族が近づく時、あるいは急な動きをした時、愛猫があなた又は同居家族に向かって	次の行動はありますか？ ・ うなる(“ウー”という) ・ 歯をむく ・ “シャーシャー、フーズ”という ・ 軽く引っ掻く、軽く咬む	1 ない 2 とまどき 3 しほしほ 4 たいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	恐怖関連攻撃	弱い 強い 強い
	飼い主 同居家族	愛猫がご飯を食べている最中に、あなた又は同居家族が愛猫に近寄る時、あなた又は同居家族に向かって	次の行動はありますか？ ・ うなる(“ウー”という) ・ 歯をむく ・ “シャーシャー、フーズ”という ・ 軽く引っ掻く、軽く咬む	1 ない 2 とまどき 3 しほしほ 4 たいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない		弱い 強い
社会性						弱い 強い

飼い主		行動特性		社会性		
飼い主 同居家族 同居動物	鳥や小動物が窓から見える時、無関係の対象(あなた、同居家族、同居動物、物)に向かって	次の行動はありますか? ・ 前触れもなく咬みつく ・ 血が出るほど引っ掻く ・ 血がでるほど咬む	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	強い	転嫁関連攻撃	取り乱し屋さん タイプ
同居猫	①愛猫がご飯を食べている最中に、②寝床の取り合いに際して、③通路などで出会う場面で、同居猫が愛猫に近寄る時、その同居猫に向かって	次の行動はありますか? ・ うなる(“ウー”という) ・ 歯をむく ・ “シヤ-シヤ-、フーツ”という ・ 軽く引っ掻く、軽く咬む	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い	テリトリー 関連攻撃	お山の大将タイプ
非同居人	愛猫の見知らぬ“人”があなたの家を音連れる時、その人に向か	次の行動はありますか? ・ うなる(“ウー”という) ・ 歯をむく ・ “シヤ-シヤ-、フーツ”という ・ 軽く引っ掻く、軽く咬む	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い	テリトリー及び 恐怖関連攻撃	お山の大将なのに 怖がりタイプ
—	愛猫の見知らぬ“人”があなたの家を訪れる時	次の行動はありますか? ・ 血が出るほど引っ掻く ・ 血がでるほど咬む	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	強い		
		次の行動はありますか? ・ その人を恐れて回避 ・ 毛づくろいを繰り返す ・ 不動化(固まる) ・ 震える ・ 過剰に鳴く	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い		
		次の行動はありますか? ・ 隠れる ・ 破壊するような行動(逃げ道であるドアや窓に対して)	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいいてい 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	強い	恐 怖	怖がりなタイプ

行動特性		社会性				
—	大きな音がした時	次の行動はありますか？ ・ 不動化(固まる) ・ 毛づくろいを繰り返す ・ 震える ・ 過剰に鳴く	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいして 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い	怖	怖がりなタイプ
—	愛猫が未知の状況に初めて置かれる時 [例えば、初めて動物病院を訪れる等]	次の行動はありますか？ ・ 隠れる ・ ケージの隅に身を寄せる ・ 破壊するような行動(逃げ道であるドアや窓に対して)	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいして 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い	不安	おどおど、 びくびくする タイプ
—	愛猫が、音や匂い、動きなどの刺激を受ける場面で	次の行動はありますか？ ・ 走り回る ・ 鳴き続ける	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいして 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	弱い	過反応 (反応過敏)	敏感なタイプ 予備軍
—	あなた又は同居家族が室内で愛猫と一緒にいる時に、あなた又は同居家族に対して	次の行動はありますか？ ・ ゴロゴロと音を鳴らす ・ あなたの注意を引くかのように、ニャーと鳴く	1 ない 2 ときどき 3 しばしば 4 たいして 5 いつも 6 このような場面に 出会ったことがない	強い	—	敏感なタイプ

III おわりに

1 調査手法等に関する検討会関係

(1) 検討会委員について

4名程度による検討会とされたが、「犬の行動解析実務」に精通している者及び犬猫の入手希望者等(購入者等)の実態等に精通している「犬猫等販売業」関係者をそれぞれ1名追加し、関係団体は家庭動物の個体識別・所有明示措置の普及団体である「動物ID普及推進会議」関係者とした6名で構成した。(専門家3名、事業者2名、関係団体1名)

(2) 犬に関する調査手法の検討について

ア 犬に関する調査手法

国内での犬猫幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査・研究等についての情報交換を行ったが、動物行動治療に関する研究等の情報はあったが、幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関するものでは、麻布大学菊水健史教授によるイヌの行動解析システム「C-barq」を用いたもの以外には適切なものが見当たらないとのことであった。

そこで、本検討会としては、幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期に関する調査手法は、「C-barq」を用いた集計・解析手法とし、今期に確保した個体は来期に「C-barq」を用いた集計・解析を行うことが妥当であるとの意見であった。

イ 犬に関する調査

基本的に「C-barq」を用いることとし、一般飼い主が回答しやすい設問数や表現とすることが望ましいこととの意見であったが、これまでの「C-barq」運営経験から、さほど回答者の負担とはならないのではとの意見があり、検討の結果、社会性に関する8つの気質だけでなく、残りの5つの気質を含めた回答により、充実した個別解析結果が得られるとされた。

また、犬に関するアンケート調査は、コスト、迅速性等を考慮し、インターネット経由で行うことを基本とすることが妥当であるとの意見であった。

(3) 猫に関する調査手法の検討について

ア 猫に関する調査手法

すべての出席委員からは、猫独自の調査手法は現状では見当たらないとの意見であった。

そこで、専門家委員から情動に絡む行動は犬猫に共通している部分が多く、犬の行動解析システム「C - barq」の設問を猫に置き換えることで、個々の猫の行動の頻度を数値化すれば統計処理が可能と思われるとの意見があり、検討会としては「C - barq」をアレンジして集計・解析を行うこととする意見であった。

しかし、「C - barq」の設問を猫用にアレンジすることは可能であるが、この場合の集計・解析等の作業は、別途専門機関・部署の協力が必要となる場合が想定されるとされた。

イ 猫に関する調査

検討会では、試行的調査同様にペットショップで販売される猫を対象としてデータを集める前提で、設問・回答はコスト、迅速性等を考慮し、インターネット経由で行うことを基本とすることが妥当であるとの意見であった。

ウ 調査対象犬・猫

本検討会では、調査対象犬・猫について販売日齢毎に頭数を確保するのではなく、「ZPK」の協力を得ながら現在の日本国内で主流をなすペットショップ販売(購入)の犬・猫を調査することが現実的であり、日本の現状に近いデータが得られるものであるとの意見であった。

2 調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料の作成関係

第2回・第3回検討会を中心に「普及広報資料の作成」を検討し、チラシは「読みやすく、短く」、内容は「前向き・プラス(ポジティブ)なもの」が適するとし、更に、アンケート調査協力者(回答者)には、当該犬・猫の気質(性格等)を別途お知らせすることも重要であるとの意見に基づき、「調査手法等に関する一般飼い主や店舗等への普及広報資料チラシ(データ)」を作成した。

また、普及広報チラシの配布協力店舗には「環境省調査協力店舗」を表示するポスター等の配布も検討すべきとの意見も出された。

一方、アンケート調査協力者へのマイクロチップ施術等に関する協力費の取扱いに関しては、予算面を考慮した上での的確な金額等とすべきとされた。

3 試行的な調査関係

(1) 協力犬猫等販売業及び協力犬猫購入予定者(購入者)の確保について

試行的調査に当たっては、日本国内各地における犬猫の販売店と犬猫の購入予定者を対象とすることから、犬猫等販売業者団体である「ZPK」(3,700会員)と協議し、同会会員の犬猫等販売業の中で協力店舗5社を確保するとともに、同協力店舗で犬猫を購入する計314名(314頭:犬269頭、猫45頭)を協力購入者(協力飼い主)として確保し、それぞれの協力購入者(飼い主)から承諾書を提出してもらうことで、追跡調査等今後の調査への協力購入者(飼い主)とした。

また、検討会では、本格調査に際しても「ZPK」の協力を得ながら、現在の日本国内で主流をなすペットショップ販売(購入)の犬・猫及びその購入者(飼い主)を対象に調査することが現実的で、かつ日本の現状に近いデータ(情報)となるとする意見であった。

更に、協力犬猫販売店舗は、販売犬猫にマイクロチップを施術を行っている店舗で、かつ、アンケート調査の精度をよりの確なものとするために、購入犬猫の登録((2)の項参照)内容をデータ化して公益社団法人日本獣医師会に送付する体制のある店舗を対象とすることが望ましいとの意見であった。

(2) 協力合意購入者の犬猫へのマイクロチップ装着及びデータ登録について

検討会では、協力犬猫購入予定者の負担するマイクロチップ装着(施術)及びデータ登録に係る経費に関しては、アンケート調査に必要な協力費として一部補助をする方法が妥当とする意見であった。

また、本調査に伴う協力合意購入者(飼い主)情報の登録に関しては、当該販売店舗側でマイクロチップを施術し販売した犬猫について、協力合意購入者(飼い主)の了解のもとで、当該店舗経由でその情報を公益社団法人日本獣医師会の動物ID情報システムに登録し、マイクロチップによる所有明示措置等の徹底を図り、当該犬猫の万一の逸走等に備えることが必要との意見であった。

(3) 親等からの引き離し時期の聴き取り等について

ア 試行的調査

試行的調査での協力飼い主が購入した当該犬猫についての「親等からの引き渡し時期」を調査することとしていたが、親等から引き離された日の特定が難しい店舗もあった。そこで、実際の試行的調査では協力店舗の多くがペ

ットパークを經由した仕入れ方法を取り入れており、一般的にはペットパークにブリーダーが個体を持ち込んだ当日に競り販売＝協力犬猫販売店舗仕入日となることから、調査協力犬猫販売店舗のいずれもが回答できる「仕入れた日の日齢(仕入れ時の日齢)」を基にした。

その結果、試行的調査の約96%(302頭/314頭)が「日齢45日」を経過している個体で、残りの約4%の個体(12頭/314頭)が「日齢45日未満」であり、当該犬猫314個体を仕入れた日齢の約74%(233頭/314頭)が「日齢46日～49日」までを占めていた。

仕入れ日齢44日以下の12個体は、改正動物愛護管理法施行日(平成25年9月1日)以前に仕入れた個体(9頭)と自社繁殖個体の管理の都合により当該店舗で管理していた個体(3頭)とのことで、それらの販売時日齢は最短で犬が67日齢、猫が56日齢、最長で犬が397日齢、猫が106日齢となっている。

なお、44日齢以下の犬の平均販売日齢は215.6日齢、44日齢以下の猫の平均販売日齢は81.0日齢となっている。

一方、仕入れ日齢57日以上では、最も仕入れ時の日齢が経過している個体「犬：86日齢が1頭」、「猫：57日齢が1頭」を含め計17頭であった。

試行調査時の犬の仕入れ平均日齢は48.53日齢、同猫の仕入れ平均日齢は47.61日齢であり、更に、犬の平均販売日齢は92.58日齢、同猫の平均販売日齢は89.13日齢となっている。

試行的調査実施時は、改正動物愛護管理法第22条の5(幼齢の犬又は猫に係る販売等の制限)は、平成28年8月末日までは「出生後45日を経過しないもの」と読み替えるものとされ、更に、「平成28年9月から別に法律で定める日まで」の間は、「出生後49日を経過しないもの」と読み替えるものとされていることを踏まえ、検討会では、「49日齢から56日齢」に関する調査等の具体的方法は、今後の本格調査に委ねるとの意見であった。

イ ZPKによるペットパークでの調査

また、第3回検討会における「ZPK」調査報告では、(一社)ペットパーク流通協会(加盟15パーク)加盟の中部、関西地域ペットパーク中の3パークでの「幼齢犬猫のオークションに出荷される日」としては、日齢46日未満の犬・猫のパーク流通は自主規制しているとのことで、ほとんどの犬猫が生後46日齢～49日齢を占めていたが、生後50日齢～56日齢の犬猫を出荷するケースもあるとされた。

(4) 猫の問題行動把握のための一般飼い主へのアンケート調査項目等の検討について

第2回・第3回検討会を中心に検討し、犬の「C-barq」をアレンジして

集計・解析を行うことが妥当との意見であり、専門家委員の協力により「猫の問題行動把握のための一般飼い主へのアンケート調査項目等」に関しては11項目(11場面)として取りまとめた。

また、集計・解析等の作業は、犬の「C-barq」と異なるため、場合によっては、別途専門機関・部署への委託等を検討する必要があるとされた。

IV 参考資料

1 参考資料 1 : 獣医動物行動研究会「診療前調査票」

イヌの飼い主への質問用紙

ネコの飼い主への質問用紙

(獣医動物行動研究会ホームページより転載)

<http://vbm.jp/DogQ.pdf>

<http://vbm.jp/CatQF.pdf>

2 参考資料 2 : C-b a r q -犬の行動解析システム- 概要

(C-b a r q ホームページより転載)

<http://cbarq.inutokurasu.jp/cbarq/index.html>

<http://cbarq.inutokurasu.jp/cbarq/summary.html>

【 イヌの飼い主への質問用紙 】

< 全般的な情報 >

記入日付: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 カルテ番号: _____
 記入者氏名: _____ 飼い主氏名: _____
 住所: 〒 _____
 自宅電話: _____ () _____ ファックス: _____ () _____

イヌの名前: _____ 品種(毛色): _____ () _____
 生年月日: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (歳) 体重: _____ kg
 性別(○で囲んで下さい): 雄 去勢済雄 雌 避妊済雌

かかりつけの動物病院 病院名: _____
 獣医師氏名: _____
 住所: 〒 _____
 電話: _____ () _____

< 1. 問題行動の内容と経過 >

問題行動 その1

1.1 相談したい行動上の主な問題(以下問題行動と呼びます)とは何ですか? 一つだけ○で囲んで下さい。
 a) 攻撃行動 b) 破壊行動 c) 無駄吠え d) 恐怖症 e) 家の中での不適切な排泄 f) 自傷行動
 g) その他()

1.2 主な問題行動はどのくらいの頻度でますか? 当てはまるところに記入して下さい。
 a) 1日に__回 b) 1週間に__回 c) 1ヶ月に__回

1.3 初めてその問題行動が起こったのはいつですか?
 a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.4 いつからその問題行動を治すべきだと認識しましたか?
 a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.5 問題行動が始まってから現在に至るまでの間に、起こる頻度や程度、内容などに変化はありましたか?
 頻度: a) 多くなってきた b) 少なくなってきた c) 変わらない
 程度: a) ひどくなってきた b) よくなってきた c) 変わらない
 内容: ()

1.6 問題行動の引き金となるものや、その問題行動が起こる状況を挙げて下さい。

1.7 実際に最近起こった問題行動を詳しく書いて下さい。
 (日時, 場所, 攻撃行動の場合は相手, 人間の存在の有無, あなた自身の反応などについて)
 1. 最も最近の出来事(日時:)

2. その前の出来事(日時:)

3. さらに前の出来事(日時:)

その他の特別な出来事(日時:)

1.8 その問題行動を矯正するために

—何をしましたか？

- a) 口頭で叱った b) 叩いた c) イヌを仰向けにした d) 薬物を投与した
 e) 専門家に相談した (行動学者 獣医師 訓練士 その他 ←○をつけて下さい)
 f) その他()

—どのくらいの期間実施しましたか？

—それは問題行動の改善に役立ちましたか？

問題行動 その2

1.9 次に相談したい問題行動について当てはまるもの全てを○で囲んで下さい。

- a) 攻撃行動 b) 破壊行動 c) 無駄吠え d) 恐怖症 e) 家の中での不適切な排泄 f) 自傷行動
 g) その他()

1.10 初めてその問題行動が起こったのはいつですか？

- a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.11 問題行動の引き金となるものや、その問題行動が起こる状況を挙げて下さい。

<2. 家の環境>

2.1 あなたを含め家族全員の性別、年齢、あなたとの関係(夫・母・子など)、仕事や学校などで家を留守にする時間帯(平日の平均)を書いて下さい。

関係	性	年齢	留守にする時間帯
例 祖父	男	68	8:00～15:00

2.2 あなたのイヌと家族の関係について書いて下さい。
(例:父親に一番なついている、子供のそばに行きたがらないなど)

2.3 飼っている動物全ての名前、種類(品種)、性別、不妊手術の有無、飼い始めた年齢、現在の年齢、飼い始めた順序を教えてください。

名前	種類(品種)	性別	不妊手術	飼い始めた年齢	現在の年齢	順序
患畜	イヌ()					

2.4 問題となっているイヌと他の動物との関係を教えてください。

- a) 仲よし b) 喧嘩が絶えない c) 怖がる d) お互いに無関心

2.5 あなたの住んでいる場所は？ a) 都会 b) 郊外 c) 田舎

2.6 あなたの家は？ a) 一軒家 (庭:あり なし) b) 集合住宅(アパート, マンションなど)

2.7 あなたの家の部屋の数は？ _____

<3. イヌの経歴>

3.1 イヌを手に入れた理由は？

- a) 愛玩用 b) 護衛用 c) 作業用 d) その他()

3.2 この犬種を選んだ理由は？

3.3 これまでにイヌを飼育した経験はありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、頭数・犬種・飼育場所(室内/屋外)について教えてください。

3.4 どこでイヌを手に入れましたか？

- a) ペットショップ b) ブリーダー c) 友人から d) 保健所 e) 迷いイヌ
f) その他()

3.5 親犬、同腹犬、兄弟・姉妹犬に会ったことはありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、どのような性格でしたか？また、何らかの問題行動を持っているという情報はありますか？

- 3.6 以前、他の人に飼われていましたか？ a) いない b) 1人 c) 2人以上
- 3.7 去勢もしくは避妊手術を受けましたか？ はい いいえ
はいと答えた方、それは… 歳 月
- 3.8 手術後、あなたのイヌの行動に変化はありましたか？

< 4. 食餌と摂食行動 >

- 4.1 どんな食餌をあげていますか？ a) ドライフード b) 缶詰 c) 半生タイプ
d) ドライフードと缶詰 e) 人間の食物(米, 肉, 魚等) f) その他()
- 4.2 どのくらいの頻度で食餌を与えますか？ 1日 回
またそれは何時頃ですか？ 食餌の時間
- 4.3 誰が食餌をあげますか？
- 4.4 どこであげますか？
- 4.5 あなたのイヌの大好きなおやつは何ですか？
どの位の量を与えていますか？
- 4.6 そのおやつはどのようなときにあげますか？
- 4.7 サプリメントは与えていますか？ はい いいえ
はいと答えた方、それはどのような種類ですか？

< 5. 生活習慣 >

- 5.1 あなたのイヌの典型的な一日の生活パターンを詳しく書いて下さい。
(起床～就寝について、散歩や留守番などの情報も含めて、時刻とともに書いて下さい)
- 5.2 あなたのイヌにはハウスがありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、それは… a) サークル b) ケージ c) その他()
大きさは？
- 5.3 あなたのイヌは夜どこで寝ますか？ a) 屋外 b) 家の中の自由な場所 c) 専用のベッド d) あなたのベッド
- 5.4 一日のうち留守番する時間はありますか？ 1日約 時間
- 5.5 あなたのイヌが家で留守番をする場合はどこにいますか？

5.6 あなたの家族とイヌが2メートル以内の距離にいる時間はどのくらいありますか？ 1日約 _____ 時間

5.7 あなたはイヌに毎日どのような運動をさせていますか？○をつけて長さ(時間)も書いて下さい。

- a) リードつきで散歩する _____
- b) リードなしで飼い主とともに散歩する _____
- c) 飼い主とは関係なく自由に歩きまわらせる _____
- d) 庭に放す _____
- e) 屋外でおもちゃなどを使って遊ばせる _____
- f) 家の中でおもちゃなどを使って遊ばせる _____
- g) その他(具体的に: _____)

5.8 あなたのイヌが屋外で過ごす時間は？

- a) 全くない
- b) 1時間未満
- c) 1～6時間
- d) 6時間以上

5.9 イヌとどのように遊びますか？

- a) 撫でる
- b) おもちゃを投げる
- c) 取っ組み合い
- d) ひっぱりっこ

5.10 どんなおもちゃを持っていますか？

- a) 持っていない
- b) 投げるおもちゃ
- c) 噛むおもちゃ
- d) その他(_____)

5.11 他のイヌと遊ぶことはありますか？

はいと答えた方, それは・・・ はい _____ いいえ _____

1日約 _____ 分

5.12 あなたのイヌは家の中で排泄しますか？

はいと答えた方, それは・・・ はい _____ いいえ _____

a) 尿 b) 糞便 c) 両方

はい(頻度: _____) いいえ _____

トイレ以外の場所ですか？

<6. トレーニング>

6.1 あなたのイヌは, どのようなトレーニングを受けていますか？

- a) 受けていない
- b) 家で行った
- c) 訓練所に通ってたが途中でやめた
- d) 訓練所に通って修了した
- e) 訓練所に預けてトレーニングをしてもらった

6.2 いくつの時にトレーニングを開始しましたか？ _____

6.3 家でトレーニングした場合, 家族の中で主に誰が行いましたか？ _____

6.4 訓練所の場合, どのような方法によるトレーニングでしたか？ _____

6.5 訓練所の場合, どれだけの期間, 通い(あるいは預け)ましたか？ _____

6.6 あなたのイヌはどのぐらいの割合で号令に従いますか？

それぞれの家族について 100%(常に), 75%(たいてい), 50%(時々), 25%(まれに), 0%(全く従わない), 教えていないの中から選んで書き込んで下さい。

号令する人	お座り	伏せ	待て (30秒以上)	来い	つけ (引っ張らないで)
例;父	100%	100%	50%	25%	0%

6.7 あなたのイヌが号令に従わない状況はどんな時ですか？(例:他のイヌがいる時, 客がいる時など)

6.8 あなたのイヌはあなたに対して吠えますか？ はい いいえ
 はいと答えた方, それはどのようなときですか？ _____

6.9 あなたのイヌがイタズラをした場合はどのように叱っていますか？
 a) 口頭で叱るのみ b) 叩く c) 無視する d) その他()

< 7. 病歴 >

7.1 現在この問題や他の病気で治療を受けていますか？ はい いいえ
 投薬を受けている場合, 薬の名前を書いて下さい。 _____

7.2 過去に治療を受けたことがありますか？ はい いいえ
 はいと答えた方, どのような治療ですか？ _____

攻撃行動スクリーニング表

攻撃行動が問題ではない人も記入して下さい。

記入する際には次の記号を使って下さい。

常にやる:◎

時々やる:○

稀にやる:△

	噛む 噛む真似	歯を 剥出す	うなる	攻撃的反応 はない	試した事 がない
1. イヌを撫でる					
2. イヌを抱きかかえる					
3. イヌをソファやベッドから降ろそうとする					
4. ソファやベッドに乗っているイヌの横を通る					
5. 寝ているイヌに近づく					
6. 寝ているイヌに触る					
7. イヌのケージのそばを歩く					
8. イヌが食べているときに近づく					
9. イヌが食べているときに触る					
10. イヌが食べているときにその食餌に触る					
11. イヌが食べているときに食餌を継ぎ足す					
12. イヌの食餌を取りあげる					
13. イヌの水入れを取りあげる					
14. 空の食器を取りあげる					
15. イヌが好物やおもちゃを持っている時に近づく					
16. イヌの特別な好物を取りあげる					
17. イヌが盗んだもの(食べ物・靴下など)を取りあげる					
18. イヌのおもちゃを取りあげる					
19. イヌに号令をかける					
20. イヌを口頭で叱る					
21. イヌを叩くまねをする					
22. イヌを叩いて叱る					
23. イヌの口(マズル)をつかむ					
24. イヌの首輪や首筋を捕まえる					
25. リードや首輪による懲戒に対して					
26. イヌを10秒程度じっと見つめる					
27. イヌのいる部屋に入る					

28. イヌを部屋に置き去りにする					
29. リードをつけたり外したりする					
30. 首輪をつけたり外したりする					
31. イヌの足拭きをする					
32. イヌを洗う					
33. イヌをタオルで拭く					
34. イヌにブラシをかける					
35. イヌの顔や口の周りを触る					
36. イヌの爪を切る					
37. イヌに目薬, 耳薬, 内服薬を与える					
38. トリマーに対して					
39. 動物病院で					
40. 見知らぬ大人が家か庭に入ってくる時					
41. 見知らぬ子供が家か庭に入ってくる時					
42. 知っている大人が家か庭に入ってくる時					
43. 知っている子供が家か庭に入ってくる時					
44. 家の外にいる通行人に対して					
45. 料金所などで車外の人間に対して					
46. 散歩中に近づいてくる見知らぬ大人に対して					
47. 散歩中に近づいてくる見知らぬ子供に対して					
48. 散歩中, 他のイヌに対して					
49. 散歩中, 猫や小動物に対して					

<8. 治療について>

8.1 あなたは、イヌの行動治療を受けるにあたって、どの程度の覚悟をしていますか？

次の5つの中から選んで下さい。

1. 問題行動はそれ程深刻ではありませんが、興味があるため来院しました。
2. 問題行動はそれ程深刻ではありませんが、できればやめさせたいと思っています。
3. 問題行動が深刻なので是非やめさせたいが、もしやめさせられなくても構いません。
4. 問題行動はかなり深刻なので是非やめさせたいが、もしやめさせられなくても飼い続けます。
5. 問題行動はかなり深刻なので是非やめさせたい。もしやめさせられない場合は、このイヌを飼うことを諦めるか、安楽死を望みます。

8.2 あなたはこの問題行動を治療するために、一日平均どのくらいの時間を割くことができますか？

1日約 _____ 時間

8.3 あなたは薬を併用することを望みますか？

はい いいえ

<9. 攻撃行動>

9については、攻撃行動が問題となっている方のみ、お答え下さい。

9.1 攻撃行動の対象は？当てはまるもの全てを○で囲んで下さい。

- a) 飼い主 b) 飼い主以外の家族 c) 家族以外の人間 d) 他のイヌ e) 他の動物

9.2 あなたはイヌが攻撃的になりそうな時を予期できますか？ はい いいえ

9.3 あなたのイヌの攻撃行動の特徴について教えて下さい。

- | | | |
|--|----|-----|
| 1) 唐突に攻撃行動が起こるので二重犬格だと感じる | はい | いいえ |
| 2) 挑発されることもないのに攻撃行動が起こる | はい | いいえ |
| 3) 攻撃行動が起こった後に突然従順になる | はい | いいえ |
| 4) 攻撃行動をとった後にすまなそうにしている | はい | いいえ |
| 5) 攻撃行動をとった後に混乱しているようである | はい | いいえ |
| 6) 攻撃行動は“どんよりした”もしくは“ぼんやりとした”表情を伴って起こる | はい | いいえ |
| 7) 何が攻撃行動を引き起こすか常にわかっている | はい | いいえ |
| 8) 攻撃行動は最近始まったので特徴はよくわからない | はい | いいえ |

9.4 あなたのイヌは、血が出るほど噛みついたことがありますか？ はい いいえ

9.5 初めて出血するような攻撃をしたのはいつ頃でしたか？ 歳 ヶ月 齢

9.6 血が出るほど噛みついたのは何回ですか？ 回

9.7 血が出なくても噛みついたことがある場合、それは全部で何回ですか？ 回

9.8 攻撃行動(うなる、噛む真似をする、実際に噛むなど)は全部で何回ありましたか？ 回

9.9 あなたのイヌはどの場所を噛みましたか？

- a) 足 b) 手や腕 c) 顔 d) お尻や背中 e) その他()

9.10 典型的な攻撃行動について書いて下さい。

(どのような状況で、どのような行動(うなる、突進する、噛むなど)をとるのかについて書いて下さい)

9.11 もしあなたのイヌが前述の状況下に10回おかれたならば、攻撃行動は何回くらい起こるでしょうか？ 回

9.12 あなたのイヌが初めて人間に対してうなったのはいくつの時ですか？ 歳 ヶ月 齢
 どのような状況でしたか？

9.13 あなたのイヌが初めて人間に対して噛む真似をしたり噛みついたのはいくつの時ですか？ 歳 ヶ月 齢
 どのような状況でしたか？

【 ネコの飼い主への質問用紙 】

< 全般的な情報 >

記入日付： 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 カルテ番号： _____
 記入者氏名： _____ 飼い主氏名： _____
 住所： 〒 _____
 自宅電話： _____ (_____) ファックス： _____ (_____)
 ネコの名前： _____ 品種(毛色)： _____ (_____)
 生年月日： 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳) 体重： _____ kg
 性別(○で囲んで下さい)： 雄 去勢済雄 雌 避妊済雌

かかりつけの動物病院 病院名： _____
 獣医師氏名： _____
 住所： 〒 _____
 電話： _____ (_____)

< 1. 問題行動の内容と経過 >

問題行動 その1

1.1 相談したい行動上の主な問題(以下問題行動と呼びます)とは何ですか？ 一つだけ○で囲んでください。

- a) 家の中での不適切な排泄 b) 人間に対する攻撃 c) ネコ同士のけんか
 d) 家具をひっかく e) 過剰に鳴く f) ウールなどを食べる
 e) その他(_____)

1.2 主な問題行動はどのくらいの頻度で起きますか？ 当てはまるところに記入して下さい。

- a) 1日に__回 b) 1週間に__回 c) 1ヶ月に__回

1.3 初めてその問題行動が起こったのはいつですか？

- a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.4 いつからその問題行動を治すべきだと認識しましたか？

- a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.5 問題行動が始まってから現在に至るまでの間に、起こる頻度や程度、内容などに変化はありましたか？

- 頻度： a) 多くなってきた b) 少なくなってきた c) 変わらない
 程度： a) ひどくなってきた b) よくなってきた c) 変わらない
 内容： (_____)

1.6 問題行動の引き金となるものや、その問題行動が起こる状況を挙げて下さい。

1.7 実際に最近起こった問題行動を詳しく書いて下さい。

(日時, 場所, 攻撃行動の場合は相手, 人間の存在の有無, あなた自身の反応などについて)

1. 最も最近の出来事(日時: _____)

2. その前の出来事(日時:)

3. さらに前の出来事(日時:)

その他の特別な出来事(日時:)

1.8 その問題行動を矯正するために
一何をしましたか？

- a) 口頭で叱った b) 叩いた c) 隔離した d) 水をふきかけた e) 薬物を投与した
f) 専門家に相談した (行動学者 獣医師 訓練士 その他 ←○をつけて下さい)
g) その他()

一どのくらいの期間実施しましたか？

一それは問題行動の改善に役立ちましたか？

問題行動 その2

1.9 次に相談したい問題行動について当てはまるもの全てを○で囲んで下さい。

- a) 家の中での不適切な排泄 b) 人間に対する攻撃 c) ネコ同士のけんか
d) 家具をひっかく e) 過剰に鳴く f) ウールなどを食べる
g) その他()

1.10 初めてその問題行動が起こったのはいつですか？

- a) 6ヶ月齢未満 b) 6ヶ月齢～1歳齢 c) 1～2歳齢 d) 2歳齢以上

1.11 問題行動の引き金となるものや、その問題行動が起こる状況を挙げて下さい。

<2. 家の環境>

2.1 あなたを含め家族全員の性別、年齢、あなたとの関係(夫・母・子など)、仕事や学校などで家を留守にする時間帯(平日の平均)を書いて下さい。

関係	性	年齢	留守にする時間帯
例 祖父	男	68	8:00-15:00

2.2 あなたのネコと家族の関係について書いて下さい。
(例:父親に一番なついている、子供のそばに行きたがらないなど)

2.3 飼っている動物全ての名前、種類(品種)、性別、不妊手術の有無、飼い始めた年齢、現在の年齢、飼い始めた順序を教えてください。

名前	種類(品種)	性別	不妊手術	飼い始めた年齢	現在の年齢	順序
患畜	ネコ()					

2.4 問題となっているネコと他の動物との関係を教えてください。
下記の中からあてはまる記号を記入し、具体的な様子を書いて下さい。

- a) 仲よし b) 喧嘩が絶えない c) 無関心 d) 喧嘩をしかける e) 逃げ隠れする

ペットの名前	そのネコとの関係	
例:ハナコ	a	一緒に遊び、一緒に寝ることもある。ハナコを追いかけるのが好き。
1.		
2.		
3.		
4.		

2.5 あなた住んでいる場所は？ a) 都会 b) 郊外 c) 田舎

2.6 あなたの家は？ a) 一軒家(庭:あり なし) b) 集合住宅(アパート、マンションなど)

2.7 あなた家の部屋の数は？ _____

<3. ネコの経歴>

3.1 ネコを手に入れた理由は？ a) 愛玩用 b) その他()

3.2 この品種を選んだ理由は？

3.3 これまでにネコを飼育した経験はありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、頭数・品種・飼育場所(室内/屋外)について教えてください。

5.3 あなたのネコの典型的な一日の生活パターンを詳しく書いて下さい。
(起床～就寝について、留守番や遊びなどの情報も含めて、時刻とともに書いて下さい)

5.4 あなたのネコは夜どこで寝ますか？

- a) 屋外 b) 家の中の自由な場所 c) 専用のベッド d) あなたのベッド

5.5 一日のうち留守番する時間はありますか？ _____ 時間

5.6 あなたのネコが家で留守番をする場合はどこにいますか？ _____

5.7 一日にどのくらい遊びますか？ _____ 分

5.8 ネコとどのように遊びますか？

- a) 撫でるだけ b) 手を使って遊ぶ c) おもちゃを使って遊ぶ d) その他()

5.9 おもちゃの種類は？ a) ボール b) むいぐるみ c) 吊り下げのおもちゃ

5.10 あなたのネコには何か教えていますか？(例;「おいで」,「おて」) _____

5.11 あなたのネコは爪とぎをしますか？

- a) あちらこちらで b) 決められた場所で c) あまりしない

<6. 排泄行動>

6.1 あなたのネコは専用のトイレを利用しますか？ はい いいえ

6.2 あなたのネコは平均で一日に何回くらいこのトイレを使用していますか？ 尿 _____ 回 糞便 _____ 回

6.3 あなたのネコはネコ用トイレ以外(家の中)で排泄したことがありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、それは・・・ a) 尿 b) 糞便 c) 両方
その頻度は・・・ a) 1日に _____ 回 b) 1週間に _____ 回 c) 1ヶ月に _____ 回

6.4 あなたのネコは尿スプレーをしますか？ はい いいえ

6.5 ネコ用トイレをいくつ置いていますか？ _____ 個

6.6 どこにネコ用トイレを置いていますか？ _____

6.7 ネコ用トイレはどのようなものですか？○をつけて数を書いて下さい。

- a) 一般的に売られているプラスチック製の四角いトイレ _____ 個
b) 取り外し可能なへりがついているトイレ _____ 個
c) 入り口のある洞穴のような蓋付のトイレ _____ 個
d) 洗いおけ _____ 個
e) ボール紙(厚紙)製の箱 _____ 個
f) その他() _____ 個

6.8 ネコ砂はどのようなものですか？

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------------|
| a) 普通の砂 | b) 香り付の砂 | c) 水分がしみこむと固まる砂 |
| d) 水分がしみこむと固まる砂(香り付) | e) シリカゲル | f) ウッドチップ |
| g) トイレに流せる紙性のもの | h) その他() | |

6.9 どのくらいの頻度で糞便をすくいとりますか？

6.10 どのくらいの頻度でネコ砂を全部取り替えますか？

6.11 あなたのネコは排尿後砂をかけますか？

はい いいえ

6.12 あなたのネコは排便後砂をかけますか？

はい いいえ

6.13 最近、尿検査を受けたことはありますか？時期および結果を書いて下さい。

6.14 今までに尿路の疾患(膀胱炎, 尿石症など)にかかったことはありますか？
はいと答えた方, 時期および治療期間を教えてください。

はい いいえ

< 7. 社会的行動 >

7.1 一般的にあなたのネコの活発さ(活動性)はどのくらいですか？

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| a) 低い | b) 普通 | c) 高い | d) 過剰 |
|-------|-------|-------|-------|

7.2 あなたのネコは庭や窓から見える外のネコにどのような反応をしますか？

- | | | | |
|--------|-----------|--------------|------------|
| a) 無関心 | b) シューという | c) ギャーギャーと鳴く | d) 攻撃をしかける |
|--------|-----------|--------------|------------|

7.3 あなたのネコは庭や窓から見える外の鳥にどのような反応をしますか？

- | | | | |
|--------|-----------|--------------|------------|
| a) 無関心 | b) シューという | c) ギャーギャーと鳴く | d) 攻撃をしかける |
|--------|-----------|--------------|------------|

7.4 あなたのネコは動物病院ではどのように振舞いますか？

7.5 あなたのネコは大きな音, 大きな声に対してどのような反応をしますか？

7.6 あなたのネコがミャーミャー鳴くのはどのようなときですか？

- | | | |
|------------|------------|--------|
| a) 食餌をもらう時 | b) 注目されたい時 | c) その他 |
|------------|------------|--------|

7.7 あなたのネコが喉をゴロゴロ鳴らすのはどのようなときですか？

7.8 あなたのネコがうなったりシューというのはどのようなときですか？

7.9 ネコがいたずらなどをしたとき, あなたはどのように叱っていますか？

7.10 あなたのネコは家族が帰宅するとどのような反応をしますか？

- | | | | |
|------------------|----------|-------|----------|
| a) 顔や身体をこすりつけてくる | b) 姿を見せる | c) 鳴く | d) 隠れたまま |
|------------------|----------|-------|----------|

7.11 あなたのネコは来訪者に対してどのような反応をしますか？

- | | | |
|-----------|---------------|------------------|
| a) 膝にとびのる | b) 頭や頬をこすりつける | c) 同じ部屋にいるが近寄らない |
| d) 隠れる | e) その他() | |

7.12 あなたのネコの性格は？当てはまるもの全てを○で囲んで下さい。

- a) 臆病 b) 遊び好き c) 恥ずかしがりや d) 神経質 e) ずうずうしい
 f) 人懐こい g) 孤独を好む h) 大胆 i) 甘えん坊 j) おとなしい

<8. 病歴>

8.1 現在この問題や他の病気で治療を受けていますか？ はい いいえ
 投薬を受けている場合は、薬の名前を書いて下さい。 _____

8.2 過去に治療を受けたことがありますか？ はい いいえ
 はいと答えた方、どのような治療ですか？

<9. 治療について>

9.1 あなたは、ネコの行動治療を受けるにあたって、どの程度の覚悟をしていますか？
 次の5つの中から選んで下さい。

1. 問題行動はそれ程深刻ではありませんが、興味があるため来院しました。
2. 問題行動はそれ程深刻ではありませんが、できればやめさせたいと思っています。
3. 問題行動が深刻なので是非やめさせたいが、もしやめさせられなくても構いません。
4. 問題行動はかなり深刻なので是非やめさせたいが、もしやめさせられなくても飼い続けます。
5. 問題行動はかなり深刻なので是非やめさせたい。もしやめさせられない場合は、このネコを飼うことを諦めるか、安楽死を望みます。

9.2 あなたはこの問題行動を治療するために、一日平均どのくらいの時間を割くことができますか？
 1日約 _____ 時間

9.3 あなたは薬を併用する事を望みますか？ はい いいえ

<10. 攻撃行動>

10 については、攻撃行動が問題になっている方のみ、お答え下さい。

10.1 攻撃行動の対象は？当てはまるもの全てを○で囲んで下さい。

- a) 飼い主 b) 飼い主以外の家族 c) 家族以外の人間 d) 他のネコ e) 他の動物

10.2 あなたはネコが攻撃的になりそうな時を予期できますか？ はい いいえ

10.3 あなたのネコの攻撃行動の特徴について教えてください。

- | | | |
|--|----|-----|
| 1) 唐突に攻撃行動が起こるのでびっくりする | はい | いいえ |
| 2) 挑発されることもないのに攻撃行動が起こる | はい | いいえ |
| 3) 攻撃行動が起こった後に突然従順になる | はい | いいえ |
| 4) 攻撃行動をとった後にすまそうにしている | はい | いいえ |
| 5) 攻撃行動をとった後に混乱しているようである | はい | いいえ |
| 6) 攻撃行動は“どんよりした”もしくは“ぼんやりとした”表情を伴って起こる | はい | いいえ |
| 7) 何が攻撃行動を引き起こすか常にわかっている | はい | いいえ |
| 8) 攻撃行動は最近始まったので特徴はよくわからない | はい | いいえ |

10.4 あなたのネコは、血が出るほど噛みついたことがありますか？ はい いいえ

10.5 初めて血が出るような攻撃をしたのはいつ頃でしたか？ 歳 ヶ月齢

10.6 血が出るほど噛みついたのは何回ですか？ 回

10.7 血が出なくても噛みついたことがある場合、それは全部で何回ありましたか？ 回

10.8 攻撃行動(うなる、ひっかく、噛むなど)は全部で何回ありましたか？ 回

10.9 あなたのネコはどの場所を噛みましたか？

- a) 太もも b) 腕(二の腕) c) 顔 d) お尻や背中 e) 手 f) 足首 e) その他()

10.10 典型的な攻撃行動について書いて下さい。

(どのような状況で、どのような行動(うなる、ひっかく、噛むのかなど)をとるのかについて書いて下さい)

10.11 もしあなたのネコが前述の状況下に10回おかれたならば、攻撃行動は何回ぐらい起こるでしょうか？ 回

10.12 あなたのネコが初めて人間に対してシャーと言ったのはいつの時ですか？ 歳 ヶ月齢
どのような状況でしたか？

10.13 あなたのネコが初めて人間に対して噛む真似をしたり噛みついたのはいつの時ですか？ 歳 ヶ月齢
どのような状況でしたか？

<11. 排泄の問題>

11 については、家の中での不適切な排泄が問題になっている方のみ、お答え下さい。
また、別紙に部屋の見取り図とトイレおよび食餌と水の位置、そしてこれまで排泄された場所を記して下さい。

11.1 どんな時間帯にトイレ以外の場所での排泄を見つめますか？(午前、午後、仕事に行く前、夜中など)

11.2 トイレ以外の場所で排泄しているところを目撃したことはありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、その時、あなたはどのように対応しましたか？

その時のネコの反応は？

11.3 トイレ以外の場所で排尿している時、ネコはどのような姿勢をとっていますか？

- a) 立った状態 b) 座った状態

11.4 トイレ以外の場所で排尿している時、ネコはどのような場所にしていますか？

- a) 床の上 b) 垂直面(壁など) c) その他()

11.5 トイレの大きさはどのくらいですか？

11.6 これまでに違うタイプの砂を使ったことはありますか？ はい いいえ
はいと答えた方、どのように変えましたか？ 以前 → 現在

トイレを使う頻度に変化はありましたか？ a) 増えた b) 減った c) 変わらない

11.7 あなたのネコが排尿排便をしているときに辛そうにしていること(泣き叫ぶ、長時間力むなど)はありますか？
はい いいえ

11.8 トイレに血が付いているのを見たことはありますか？ はい いいえ

11.9 あなたのネコが粗相をしたところの掃除はどのように行っていますか？

- a) 濡れたタオルで拭き取る b) 消臭剤を吹き付ける c) 酵素入りの消臭剤を吹き付ける
d) その他()

11.10 あなたのネコが初めてトイレ以外の場所で排泄したのはいくつの時ですか？ 歳 ヶ月齢

同時期に、ネコが混乱するような出来事などがありましたか？ はい いいえ

(例:引越、大きな音、仕事の時間が変わった、ペットが増えた、赤ちゃんが生まれた、食餌が変化したなど)

はいと答えた方、具体的な出来事を書いて下さい。

11.11 最近、家の模様替えをしましたか？ はい いいえ

11.12 この行動を変化させようと試みたことを教えて下さい。

[ホーム](#) > C-barq — 犬の行動解析システム —

C-barq — 犬の行動解析システム —

C-barqは犬の行動解析システムです。4～5Stepで犬の行動を解析することができます。



C-barq 概要

C-barq は『犬の行動解析システム』であり、Canine Behavioral Assessment and Research Questionnaire という正式名称から造られた呼称です。犬の吠え声 (bark) にちなんで、“シーバーク”と呼んでください。C-barqは、統計学的手法を用いて犬の行動の特徴を抽出し（これを行動特性と言います）、科学的な視点を介して、その行動特性について測定及び評価をなすものです。いわば、行動を測定する「モノサシ」として機能します。ご興味を持って頂けたら早速ご利用になってください。これまで曖昧にしか整理できなかった犬の行動がクリアに整理され、気になっていた行動にどのようにアプローチすれば良いのかが見えてくることと思います。

[詳細はこちら](#)

料金体系

- ・“簡易な解析”までは**無料**でご利用になれます。
- ・“詳細な解析”は有料になります。料金体系については、右下のリンクを参照してください。

[詳細はこちら](#)

ケータイから利用

飼主及びブリーダーの方は、下記URLあるいは右のQRコードからアクセスして頂くことにより、C-barqモバイル版をご利用になれます。一旦登録されたデータはPCとモバイルで共通しており、どちらからでも閲覧や編集が可能です。なお、画面サイズの都合上、PC版より機能が一部制限されています。

<http://cbarq.inutokurasu.jp/ml>



C-barqへ会員登録する方はこちらから



[新規会員登録](#)



C-barqへ新規会員登録はこちらから

[新規会員登録](#)

- [動物病院の方はこちら](#)
- [しつけ方教室 / 訓練所の方はこちら](#)

[ページの一番上に戻る](#)

運営母体・会社概要

Symbio.LLC
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前4丁目1番24号 オフィスイワタ第一 2F

R&D拠点 麻布大学 獣医学部 動物応用科学科
伴侶動物学研究室
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

リンク

- [麻布大学 伴侶動物学研究室](#)
- [獣医動物行動研究会](#)

C-barqについて

- [お知らせ](#)
- [このサイトについて](#)
- [利用規約](#)
- [プライバシーポリシー](#)
- [特定商取引法に基づく表示](#)
- [よくある質問](#)
- [お問い合わせ](#)

Copyright (C) Symbio.LLC All Rights reserved.

C-barq 概要

何ができるの？

指標（モノサシ）としての機能

伴侶（犬）と生活を共にしていると、さまざまな仕草に気がきます。愛情や愛着を示す行動もあれば、嫌がるような行動、不安や恐怖におびえる行動、攻撃的な行動、興奮したり、逆におとなしすぎたり、小さな動物を追いかけたり、時には何を意味しているのか理解に苦しむものまで、実に様々な行動を示します。

その中には、人から見ると、QOLを上げるべく訓練を受けさせたいような行動から、治療が必要なのではないかと思われるような行動まで、あるはずで

ところが、犬の示すこれらの行動が、果たして正常なのか、異常なのか、どこに問題があるのか、何をどう対処すれば改善するのかなど、これらの疑問に科学的に答えられるものはこれまで存在していませんでした。つまり、従来は伴侶（犬）の行動評価については経験的になされることが多かったものと思われ

ます。これに対して、C-barqは、統計学的手法を用いて伴侶（犬）の行動の特徴（行動特性）を抽出し、科学的な視点を介してその測定及び評価をなします。いわば、**行動を測定する「モノサシ」として機能するもの**です。

C-barqの目指すもの



C-barqへ会員登録する方はこちらから



[新規会員登録](#)



13の行動特性

C-barqは、正確には、「犬の行動特性（『気質』とも言います）を測定し、評価する（又はそのための基礎資料を提供する）システム」です。

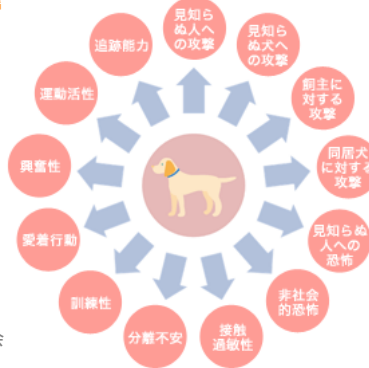
犬には、「犬」という動物種に共通して認められる行動のカテゴリー（行動特性）があります。多くの犬種と日本や米国などいくつかの国における調査研究によって、現在までに、13のカテゴリーが明らかになっています（※1）。

C-barqは、この行動特性を因子分析という統計学的手法を用いて抽出し、解析評価の軸とします。2010年現在、統計学的に信頼度が高いとされている行動特性（気質）は13あり、C-barqはこれらを軸とした座標を設定し、数値評価（スコアリング）を行うことが可能です。

この数値評価は、多くの犬種から集めた行動データ（2008年12月現在 9749頭、世界8カ国、19の盲導犬協会を含む）をもとに、統計解析と再現性試験を行い、その信頼性・有効性について一定の評価を得たものです。臨床診断に使用できることも実証されており、国際雑誌においても高い評価を受けています。

※1：C-barqで行っている解析は、脳の機能分化した特定領域の活動によって制御されている動物の行動を抽出していると考えられます。

13の行動特性の詳細



解析手法の概略

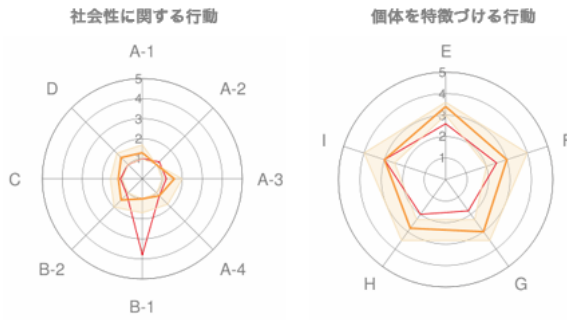
次に、解析の具体的な中身について概説します。

【定量的（数値）評価】

C-barqは従来経験依存的な犬の行動特性を数値化する能力を有しており、定量的な判断が可能です。このことは犬の気質の客観的、科学的評価を意味します。また、しつけや行動修正トレーニング、薬物療法などによる行動変化の定量的評価が行えます。

【数値を用いた相対評価】

C-barqでは、因子分析により得られた13の気質についてスコアを得ることができます。これにより、登録犬のスコアがデータベース化されます。データベース化することで、1) 犬全頭の標準的分布、2) 犬種特異的な行動特性の検出、3) 各個体のスコアをデータベースと照合することによる相対評価（全犬種や同一犬種と比較してどの位置にいるのかの評価）、が可能となります。



これまで、このような大規模な母集団における相対評価が可能なシステムは存在しませんでした。そのため、各臨床医やトレーナーの経験に依存せざるを得ず、「まあまあ攻撃的ですね」「ちょっと他の犬に比べて不安が高いですね」といったような、抽象的かつ経験則的な評価がなされてきました。C-barqを用いることで、犬全体に対しての相対的数値評価が、世界基準で可能となります。

行動特性	同一犬種との比較	犬全般との比較
A-1 見知らぬ人への攻撃	標準的	標準的
A-2 飼い主への攻撃	標準的	少し高め
A-3 見知らぬ犬への攻撃	標準的	標準的
A-4 同居犬への攻撃	標準的	標準的
B-1 見知らぬ人への恐怖	かなり高め ※専門家にご相談されることをお勧めします	かなり高め ※専門家にご相談されることをお勧めします
B-2 物音や影などに対する恐怖	標準的	標準的
C 分離不安	標準的	標準的
D 接触過敏性	標準的	標準的

解析アルゴリズムの詳細

[ページの一番上に戻る](#)

運営母体・会社概要

Symbio.LLC
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前4丁目1番24号 オフィスイワタ第一 2F

R&D拠点 麻布大学 獣医学部 動物応用科学科
伴侶動物学研究室
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

リンク

- [麻布大学 伴侶動物学研究室](#)
- [獣医動物行動研究会](#)

C-barqについて

- [お知らせ](#)
- [このサイトについて](#)
- [利用規約](#)
- [プライバシーポリシー](#)
- [特定商取引法に基づく表示](#)
- [よくある質問](#)
- [お問い合わせ](#)

Copyright (C) Symbio.LLC All Rights reserved.

平成 25 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す
理想的な時期に関する調査検討業務報告書

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

〒100 - 8975 東京都千代田区霞が関 1 - 2 - 2

電話 03(3581)3351 代表

請負者：公益社団法人 日本獣医師会

〒107 - 0062 東京都港区南青山 1 - 1 - 1 新青山ビルディング西館 2 3 階

電話 03(3475)1695 FAX 03(3475)1697

報告：平成 26 年 3 月 31 日

※無断で本報告書の全部または一部の複写・複製・転記載及び磁気又は光記録媒体への入力等を禁じます。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。